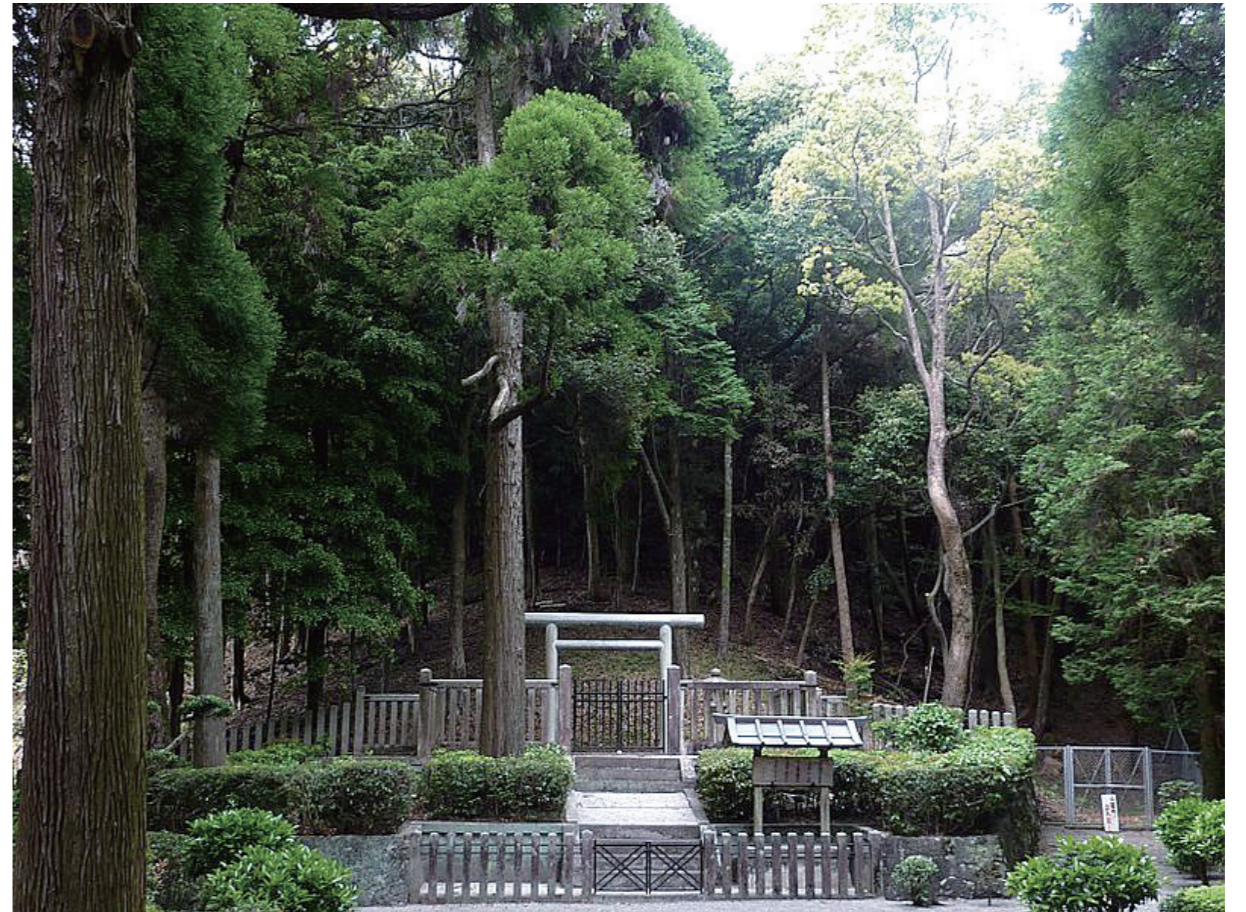


平成二十七年  
度版  
消  
防  
年  
報

平成27年度版

# 消 防 年 報



## 霧 島 市 消 防 局

鹿児島県霧島市国分中央三丁目41-5  
〒899-4332 TEL (0995) 64 - 0119  
FAX (0995) 64 - 0845

霧  
島  
市  
消  
防  
局



## 霧 島 市 消 防 局

## 全国統一防火標語一覧

昭和44年度 今捨てたタバコの温度が700度  
昭和45年度 防火三百六十五日  
昭和46年度 いま、燃えようとしている火がある  
昭和47年度 慣れた火に新たな注意  
昭和48年度 隣にも声かけあってよい防火  
昭和49年度 生活の一部にしよう火の点検  
昭和50年度 幸せを明日につなぐ火の始末  
昭和51年度 火災は人災防ぐはあなた  
昭和52年度 使う火を消すまで離すな目と心  
昭和53年度 それぞれの持場で生かせ火の用心  
昭和54年度 これくらいと思う油断を火が狙う  
昭和55年度 あなたです！火事を出すのも防ぐのも  
昭和56年度 毎日が防火デーですほくの家  
昭和57年度 火の用心 心で用心 目で用心  
昭和58年度 点検は防火のはじまりしめくり  
昭和59年度 “あとで”より“いま”が大切火の始末  
昭和60年度 恐いのは「消したつもり」と「消えたはず」  
昭和61年度 防火の大役あなたが主役  
昭和62年度 消えたかな！気になるあの火もう一度  
昭和63年度 その火 その時 すぐ始末  
平成元年度 おとなりにあげる安心火の始末  
平成2年度 まず消そう 火への鈍感 無関心  
平成3年度 毎日が 火の元警報 発令中  
平成4年度 点検を重ねて築く“火災ゼロ”  
平成5年度 防火の輪 つなげて広げて なくす火事  
平成6年度 安心の 暮らしの中心 火の用心  
平成7年度 災害に 備えて日頃の 火の用心  
平成8年度 便利さに 慣れて忘れる 火のこわさ  
平成9年度 つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火  
平成10年度 気をつけて はじめはすべて ちいさな火  
平成11年度 あぶないよ ひとりぼっちにした その火  
平成12年度 火をつけた あなたの責任 最後まで  
平成13年度 たしかめて 火を消してから 次のこと  
平成14年度 消す心 置いてください 火のそばに  
平成15年度 その油断 火から炎へ 災いへ  
平成16年度 火は消した？ いつも心に きいてみて  
平成17年度 あなたです 火のあるくらしの 見はり役  
平成18年度 消さないで あなたの心の 注意の火  
平成19年度 火は見てる あなたが離れる その時を  
平成20年度 火のしまつ 君がしなくて 誰がする  
平成21年度 消えるまで ゆっくり火の元 ならめっ子  
平成22年度 「消したかな」 あなたを守る 合言葉  
平成23年度 消したはず 決めつけないで もう一度  
平成24年度 消すまでは 出ない行かない 離れない  
平成25年度 消すまでは 心の警報 ONのまま  
平成26年度 もういいかい 火を消すまでは まあだだよ  
平成27年度 無防備な 心に火災が かくれんぼ

**平成28年度 消しましょう その火その時 その場所で**

### 表紙の説明【高屋山上陵（たかやさんじょうりょう）】

神代三山陵の一つ。日本書紀に「日向の高屋山陵に葬めまつる」、古事記に「御陵は即て其の高千穂山の西に在り」とある。天津日高彦火火出見尊（あまつひたかひこほほでみのみこと）の陵で、尊は伝承に名高い山幸彦といわれ、初めて日向の国を統治された神代三代の二代目で人皇第一代神武天皇の御祖父にあたりとされる。尊の御父君は天津日高彦火瓊瓊杵尊（あまつひたかひこほのにぎのみこと）で川内市の可愛山陵に葬られ皇霊は霧島神宮に祀られている。また御子鸕鷀草葺不合尊（うがやふきあえずのみこと）の御陵は肝属郡の吾平山上陵でその皇陵は宮崎県の鶴戸神宮に祀られる。近世、所在について種々の検討が行われ江戸時代後期の地誌「三国名勝図会」では内之浦（現在の肝付町）がその所在地とされたが、明治元年に三島通庸らが明治3年に田中頼庸らが、明治6年に樺山資雄がそれぞれ調査し、翌明治7年7月10日当時の政府によって溝辺（現在の霧島市）の陵がホオリ（彦火火出見尊）の陵と定められ整備された。これは古事記の「高千穂山の西」という記述に基づいて「高千穂山」を高千穂峰の西に「鷹大明神社」があったことから、「鷹」を「高屋」の「タカ」と結びつけたものと考えられている。

現在は宮内庁書陵部が管轄している。

# は し が き

この年報は、霧島市消防局の現況と平成27年度中における消防業務に関する諸般の事項を集録し、今後の参考にするとともに、消防事情を広く一般に紹介し、理解と協力を深めていただくことを目的として編集したものです。

なお、年報中、火災救急救助等の統計は原則として暦年で表してあります。

平成28年7月

霧 島 市 消 防 局



# 目 次

## 1. 総 括

1. 消防局管内の概況	1
2. 消防局管内位置図	2
3. 霧島市消防局のあゆみ	3～11
4. 消防局の発足経過	12
(イ) 消防局の発足経過	12
(ロ) 消防庁舎の概要	12
5. 消防局の組織	13
6. 消防団の組織	13
7. 消防局財政	14
(イ) 市予算と消防予算	14
(ロ) 消防費の内訳	14
(ハ) 消防費と人口の比率	14
8. 消防相互応援協定締結状況	15

## 2. 人員及び機材

1. 消防職員の配置状況	16
2. 消防職員の勤続年数	16
3. 消防職員の階級別年齢調べ	17
4. 過去における教養実施状況	18
5. 消防力の現勢	18
6. 管内機材配置図	19
7. 機材配置表	20～21
8. 職員の特殊技能資格取得状況	22
9. 平成27年度における主たる行事	23

## 3. 通信及び水利

1. 通信系統図	24
2. 消防水利の現況	25

## 4. 予 防

1. 防火対象物数（法17条対象物）	26
2. 防火対象物数（法8条対象物）	27
3. 消防法等に基づく届出状況	28
4. 中高層防火対象物調べ	29～31
5. 中高層建築物状況	32
6. 建築同意事務処理状況	32
7. 消防用設備等設置届処理状況	33
8. 防火・防災管理者資格取得状況	34
9. 予防技術資格者認定状況	34
10. 法8条の2の2対象物数	35
11. 法8条の2の3対象物数	35
12. 危険物施設許可状況	36
13. 数量別危険物施設状況	36
14. 危険物施設等の手数料収入状況	37

## 5. 火 災

1. 火災の概況	38
2. 月別火災発生状況	39～40
3. 時間別火災発生状況	41
4. 月別火災発生状況	42
5. 種別・月別火災発生状況	42
6. 種別火災件数比較	42
7. 月別火災発生状況（地区別）	43
8. 気象別火災発生状況	44
9. 前年との火災発生原因別比較表	44
10. 時間別火災発生状況	45
11. 曜日別火災発生件数	45
12. 出火原因別火災損害状況	46
13. 過去5年間の地区別火災発生状況（平成23年～平成27年）	47～48
14. 過去10年間の火災件数の推移（平成18年～平成27年）	49

## 6. 救 急 ・ 救 助

1. 救急概要	50
2. 月別救急出動状況	51
3. 過去5年間の救急出動状況（平成23年～平成27年）	51
4. 過去5年間における救急出動比較（平成23年～平成27年）	52
5. 曜日別救急出動状況	53
6. 時間別救急出動状況	53
7. 傷病程度別・年齢区分別搬送人員	54
8. 管内・管外収容状況	54
9. 救急搬送状況（署所別）	55
10. 月別救急出動比較	56
11. 事故種別発生比較	56
12. 事故種別救助出動及び活動の状況	57
13. 事故種別発生場所別救助人員	57
14. 応急手当の普及啓発活動状況	58
15. 救急活動実績（救命率）	58

## 7. 消 防 団 関 係

1. 消防団現勢	59
2. 消防団員の階級別配置状況	59
3. 消防団幹部一覧表	60
4. 消防団員の在職年数	61
5. 消防団出動状況	61
6. 消防団員の報酬（年額）	61
7. 消防団員の諸手当支給状況	62
8. 本部・各方面隊別階級及び整備状況	62
(1) 本部	62
(2) 国分方面隊	62
(3) 隼人方面隊	63
(4) 霧島方面隊	63
(5) 牧園方面隊	63
(6) 福山方面隊	64
(7) 溝辺方面隊	64
(8) 横川方面隊	64

8. 各 外 郭 団 体	65～66
--------------	-------

# 1. 総括







## 1. 消防局管内の概況

本局は、鹿児島県本土のほぼ中央部に位置し、北部は国立公園である風光明媚な霧島連山を有し、南部は豊かで広大な平野部が波静かな錦江湾に接し、湾に浮かぶ雄大な桜島を望むところにあります。また、霧島山系から裾野、平野部を経て錦江湾まで流れる清く豊かな天降川、その流域に広がる豊かな田園、そして山麓から平野部まで温泉群等を有しており、海、山、川、田園、温泉など多彩で豊かな地域です。総面積約 603 平方 km、人口約 12 万 6 千人の、「世界にひらく、人と自然・歴史・文化がふれあう都市」として位置づけられています。

### 構成概要

(平成28年3月1日)

地区別 \ 区分	面積 (km <sup>2</sup> )	世帯数 (戸)	人口 (人)
計	603.18	59,580	126,834
国分	122.51	26,742	58,616
溝辺	63.50	3,710	8,182
横川	69.92	2,197	4,386
牧園	129.66	3,850	7,131
霧島	82.54	2,492	4,888
隼人	66.49	17,821	38,242
福山	68.53	2,768	5,389

## 2. 消防局管内位置図

凡 例	
	消防本部
	消防署
	分遣所
	管内境
	地区境
	J R
	主要国県道



### 3. 霧島市消防局のあゆみ

- 昭和32年 6月 1日 国分市消防本部（署）を設置，署員消防長以下16名（内消防長，助役兼務），庁舎は消防団本部庁舎を仮庁舎とし，消防ポンプ自動車（いすゞ1957年型A1級）1台を配置する。
- 昭和34年 9月 1日 専任消防長に肥後直之氏が就任する。
- 昭和36年 4月 1日 消防長に今村清氏が就任する。
- 昭和40年 1月 1日 専任消防署長を置く。
- 昭和40年 4月 1日 消防吏員5名を採用，合計21名となる。
- 昭和40年10月28日 水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ1965年型A級3t積）を購入配置する。
- 昭和40年12月21日 消防無線（SSB，3W）を購入，基地局を署に，移動局を消防自動車に配置する。
- 昭和42年 7月 5日 消防長・今村清氏退職。
- 昭和42年 7月 5日 消防長・加治木幸雄氏就任する。
- 昭和42年12月14日 救急車（日産セドリック1967年型B級）を購入消防署に配置，12月26日消防無線（SSB，3W）移動局を搭載する。
- 昭和43年 1月 7日 救急業務を開始する。
- 昭和43年 7月19日 日本損害保険協会より消防車贈呈を受け，火災保険号「国分」と命名する。既存の消防ポンプ自動車を消防団敷根部へ配置替する。
- 昭和44年 4月 1日 国分市・隼人町により，消防一部事務組合を設立，国分市・隼人町消防組合となる。
- 昭和44年 4月 1日 初代組合管理者に国分市長，林昌治氏が就任。
- 昭和44年 5月 1日 組合消防長に中村清氏就任，同時に消防吏員14名，その他の職員2名を増員37名となる。また，隼人分遣所（隼人町役場内仮庁舎）を開設，署員12名，消防ポンプ自動車1台を配置する。
- 昭和44年11月14日 隼人分遣所に水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ1969年型A2級1.5t積）を購入配置，既存消防ポンプ自動車は隼人町消防団嘉例川部に配置する。
- 昭和45年 4月15日 隼人分遣所庁舎落成，4月27日移転する。
- 昭和45年 5月29日 消防本部（署）新庁舎落成，6月17日移転する。
- 昭和45年12月 7日 消防吏員5名を増員，合計42名となる。
- 昭和45年12月23日 救急車（日産エコー1970年型）を購入，消防本部（署）に配置，既存救急車を隼人分遣所に配置，救急業務を開始する。
- 昭和46年 2月 1日 鹿児島地方気象台の委託により，農業気象観測を開始する。
- 昭和46年 3月 2日 消防吏員2名を採用，合計44名となる。
- 昭和46年 4月 1日 組合に霧島町が加入，国分市外2町消防組合となる。
- 昭和46年 4月15日 国分・隼人ライオンズクラブより，アクアラングー式，テント3張の寄贈を受ける。
- 昭和46年10月 5日 霧島分遣所開設のため11名を採用，10月20日2名，12月6日1名を追加採用，合計58名となる。
- 昭和46年12月 4日 霧島分遣所に水槽付消防ポンプ自動車（日産A2級1971年型2t積）を購入する。

昭和47年 4月 1日 霧島分遣所新庁舎落成，消防吏員11名を配置する。

昭和47年 9月20日 消防吏員2名を採用，合計60名となる。

昭和47年10月 1日 組合に牧園町が加入，国分市外3町消防組合となる。

昭和47年10月 2日 消防吏員12名を採用，合計72名となる。

昭和47年12月 4日 本署に水槽付消防ポンプ自動車（いすゞディーゼル2t積）を購入，配置する。

昭和48年 2月16日 牧園分遣所に普通ポンプ自動車を購入，配置する。

昭和48年 3月 2日 消防庁長官より，竿頭綬を国分市消防団と合同受賞。

昭和48年 4月 1日 組合に福山町が加入，国分市外4町消防組合となる。

昭和48年 4月 3日 消防吏員21名を採用。

昭和48年 4月10日 牧園分遣所庁舎落成，消防吏員11名を配置する。

昭和48年 4月11日 消防長・中村清氏退職。

昭和48年 4月11日 消防長・谷口純男氏就任する。

昭和48年 8月 3日 消防長・谷口純男氏退職。

昭和48年 8月 3日 消防長・福留正男氏就任する。

昭和48年 8月 4日 消防吏員2名を採用。

昭和48年 8月17日 福山分遣所に救急車を購入する。

昭和48年 8月31日 福山分遣所に普通ポンプ自動車を購入する。

昭和48年 9月 1日 機構改革を行い，本部に庶務課，警防課を設置するとともに中央署，北署の2署制となる。

昭和48年 9月 3日 福山分遣所新庁舎落成，消防吏員11名を配置，業務を開始する。

昭和48年 9月11日 北消防署に屈折梯子付消防ポンプ自動車を購入，配置する。

昭和48年 9月18日 鹿県共済農業協同組合連合会より救急車贈呈を受け，北消防署に配置する。

昭和48年11月10日 消防吏員3名を採用。

昭和49年 3月10日 警察との専用電話を設ける。

昭和49年 3月18日 北消防署及び福山分遣所に無線基地局を設け，山間地等の難聴解消を図る。

昭和49年 4月 1日 国分市外4町消防組合から国分地区消防組合と名称を変更する。

昭和49年 4月15日 消防吏員10名を採用。

昭和49年 5月15日 消防吏員8名を採用。

昭和49年 7月 1日 始良郡西部消防組合と火災その他の災害時における相互応援協定を結ぶ。

昭和49年10月 1日 消防長は消防監となる。

昭和49年10月 1日 北消防署に予防係を配置，北消防署管内の災害，火災予防を強化する。

昭和49年11月 1日 消防吏員5名を採用。

昭和50年 2月19日 日本損害保険協会より救急車贈呈を受け，霧島分遣所に配置する。

昭和50年 4月 1日 消防吏員2名を採用，合計117名となる。

昭和50年11月14日 局線集中応答装置及び通話録音装置を購入，中央署に配置する。

昭和51年 4月 3日 日本損害保険協会より救急車の贈呈を受け，隼人分遣所に配置する。

昭和51年10月24日 国分・隼人ライオンズクラブより広報車（トヨタハイエース15名乗り）の贈呈を受け，中央署に配置する。

昭和52年 4月 1日 農業気象観測廃止。

昭和52年 5月27日 国分地区第1少年消防クラブ発足（向花小）

昭和52年 8月20日 ポンプ自動車（トヨタランドクルーザ1977年型A2級BD-1）を購入，中央署に配置する。

昭和52年10月20日 消防本部訓練用地（358㎡）購入。

昭和53年10月23日 初代・林昌治管理者の勇退に伴い，第二管理者に国分市長・谷口義一氏が就任。

昭和53年11月24日 水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ-D型）購入，中央署に配置する。

昭和54年 4月 1日 消防吏員2名を採用。

昭和54年 7月 1日 消防吏員2名を採用。

昭和54年10月 5日 日本損害保険協会より救急車1台（2B型）の寄贈を受け，中央署に配置する。

昭和54年10月13日 日本防火協会より広報車1台（婦人防火協力会）の寄贈を受け，本部に配置する。

昭和54年12月15日 本部庁舎の増改築を行う。（238.39㎡）

昭和55年 4月 1日 消防吏員5名を採用。

昭和55年 8月11日 北消防署に気象観測機器を購入設置する。

昭和55年10月 1日 大口市外三町消防組合と火災その他の災害時における相互応援協定を結ぶ。

昭和55年11月26日 株式会社タイヨーより救急車の贈呈を受け，中央消防署に配置する。

昭和55年12月22日 中央消防署に屈折梯子付消防ポンプ自動車を購入，配置する。

昭和56年 5月21日 福山分遣所に気象観測機器を購入配置する。

昭和56年 9月25日 日本消防協会より救急車の寄贈を受け，福山分遣所に配置する。

昭和56年11月22日 国分・隼人ライオンズクラブより指令車1台の寄贈を受け，消防本部に配置する。

昭和56年12月 1日 消防長・福留正男氏退職。

昭和56年12月 1日 消防長・川東文雄氏就任する。

昭和56年12月25日 指揮連絡車1台を購入，消防本部庶務課に配置する。

昭和57年 6月27日 中央消防署に気象観測機器を購入設置する。

昭和57年11月 4日 隼人分遣所水槽付消防ポンプ自動車A2級（Ⅰ-A型）更新。

昭和58年 4月 1日 消防吏員4名を採用。

昭和58年12月22日 指揮連絡車1台を購入，消防本部警防課に配置する。

昭和59年 1月 1日 垂水市と火災その他の災害時における相互応援協定を結ぶ。

昭和59年 1月10日 消防長・川東文雄氏退職。（国分市総務課参事へ）

昭和59年 1月10日 消防長・岡元光則氏就任する。

昭和59年 7月17日 国分地区幼少年消防クラブ連絡協議会発足。

昭和59年 8月28日 日本消防協会より軽可搬ポンプ2台の寄贈を受け，国分市・隼人町に配置する。

昭和59年11月14日 霧島分遣所水槽付消防ポンプ自動車A2級（Ⅰ-A型）更新。

昭和60年 8月23日 日本消防協会より救急車と軽可搬ポンプ4台の寄贈を受け，救急車を霧島分遣所へ配置し，軽可搬ポンプは国分・隼人の婦人防火クラブに配置する。

昭和60年 9月 1日 日本防火協会会長・笹川良一氏を迎え，幼少年と婦人防火のつどいを開催する。



- 昭和60年12月9日 北消防署消防ポンプ自動車A2級（CD-I型）更新。
- 昭和61年4月1日 消防吏員3名を採用。
- 昭和61年5月25日 北消防署へ国分ロータリークラブより10周年記念事業の一環としてホンダ61年式（1200cc）指令車寄贈。
- 昭和61年10月1日 北消防署庁舎改修。
- 昭和61年11月25日 福山分遣所消防ポンプ自動車A2級（CD-I型）更新。
- 昭和62年3月31日 消防吏員1名を採用。
- 昭和62年8月19日 米丸功氏より救助訓練塔の寄贈を受け、中央署に設置する。
- 昭和62年9月9日 コーアガス鹿児島より国分支店開設記念として救急車1台の寄贈を受け、中央署に配置する。
- 昭和62年10月1日 大隅曾於地区消防組合と火災その他の災害時における相互応援協定を結ぶ。
- 昭和62年12月25日 救助工作車II型を購入、中央署に配置する。
- 昭和63年1月10日 消防長・岡元光則氏退職。（国分市総務課参事へ）
- 昭和63年1月10日 消防長・西元三一氏就任する。
- 昭和63年3月16日 日本損害保険協会より救急車2B型1台の寄贈を受け、北消防署に配置する。
- 昭和63年4月1日 宮崎県都城北諸県広域市町村圏事務組合消防本部と火災その他の災害時における相互応援協定を結ぶ。
- 昭和63年5月10日 （財）全国消防協会より消防機器の改良開発により会長賞受賞。
- 昭和63年12月30日 北消防署の屈折梯子付消防ポンプ自動車老朽の為、30m級はしご車と買替え配置する。
- 平成元年3月31日 消防吏員9名退職、内2名は定年退職、7名は高齢化対策により管内市町役場へ転出。
- 平成元年4月1日 消防吏員10名を採用（欠員採用）、実人員119名。
- 平成元年4月19日 全国消防協会主催の62年度消防機器開発コンクールで急流「せき止め器」が秀に選ばれ科学技術庁長官賞、受賞。
- 平成元年5月30日 組合消防発足20周年に当たり、記念式典を行う。
- 平成元年9月8日 屈折梯子付消防ポンプ自動車（55年購入、中央消防署）の第1回オーバーホールを実施。
- 平成元年12月15日 消防長・西元三一氏退職。（国分市総務課へ）
- 平成元年12月15日 消防長・西村隆吉氏が就任。
- 平成元年12月27日 中央消防署の消防ポンプ自動車（CD-I型）更新。
- 平成2年2月1日 日本自動車工業会より救急車2B型1台の寄贈を受け、隼人分遣所へ配置。
- 平成2年4月1日 消防吏員9名が高齢化対策により退職、管内市町役場へ、新たに消防吏員7名を採用（欠員補充）実人員117名。
- 平成2年6月30日 マイクロバス26名乗り（三菱）を購入、消防本部に配置する。
- 平成2年7月22日 消防庁長官より表彰旗を国分市消防団と合同受賞（平成2年3月8日付）により受賞式典を行う。
- 平成2年10月31日 中央消防署水槽付消防ポンプ自動車更新。
- 平成3年3月25日 国分調剤薬局寺脇康文氏より北消防署に訓練塔の寄贈を受ける。
- 平成3年4月1日 消防吏員9名が高齢化対策により退職、管内市町役場へ、新たに消

			防吏員12名を採用（欠員補充），実人員120名。
平成	3年	6月 1日	新たに消防吏員1名を採用，実人員121名。
平成	3年	9月23日	ホンダプリモ国分森田和哉氏より中央消防署査察車としてホンダ3年式（660cc）寄贈を受ける。
平成	3年	11月23日	消防本部へ国分・隼人ライオンズクラブ30周年記念事業の一環として，トヨタ3年式（1500cc）指令車の寄贈を受ける。
平成	3年	12月18日	広報車として消防本部にニッサン3年式10人乗り（3000cc）を購入配置する。
平成	4年	2月15日	水難救助用ボートを購入，中央消防署に配置する。
平成	4年	4月 1日	消防吏員4名を採用（欠員補充）実人員121名。
平成	4年	12月27日	福山分遣所救急車（2B型）を更新のため購入配置。
平成	5年	1月18日	消防本部指揮連絡車（トヨタクラウンワゴン）を更新のため購入配置。
平成	5年	2月27日	救急処置範囲拡大に伴い救急7点セットを購入，中央署へ配置。
平成	5年	3月 8日	職員定数条例を改正，定数を122名から138名とする。
平成	5年	11月 2日	住宅防火診断用パーソナルコンピュータ購入，消防本部へ配置。
平成	5年	12月 6日	指揮本部車（四輪駆動車）を更新。
平成	6年	1月 1日	消防長・西村隆吉氏退職。（国分市市民課へ）
平成	6年	1月 1日	消防長・古賀保氏就任する。
平成	6年	3月21日	救急モニター（救急7点セット）を購入，隼人分遣所へ配置。
平成	6年	4月 1日	消防吏員10名を採用（増員分6名，補充4名）する。実人員126名となる。
平成	6年	12月27日	長島企業グループ（代表 長島公佑氏）より2B型救急車（トヨタハイエース）の寄贈を受け，中央消防署へ配置。ジャングルパーク号と命名。
平成	6年	12月27日	本部査察車（トヨタカルディナ）を更新。
平成	7年	1月17日	隼人分遣所の救急車（2B型トヨタハイエース）を更新。
平成	7年	2月16日	隼人分遣所のタンク車（水-I-A）を更新。
平成	7年	3月 1日	救急モニター（救急7点セット）を購入，北消防署へ配置。
平成	7年	4月 1日	消防吏員7名を採用（増員分5名，補充2名）する。実人員132名となる。
平成	7年	8月24日	日本船舶振興会より査察車（日産ADバン）の寄贈を受け本部予防課へ配置する。
平成	7年	10月18日	中央消防署屈折梯子車（16m級）を38m級梯子付消防車に更新。
平成	8年	3月 1日	救急モニター（救急7点セット）を購入，霧島分遣所へ配置。
平成	8年	4月 1日	消防吏員6名採用（増員分）実人員138名。
平成	8年	5月23日	平成8年度鹿児島県総合防災訓練が，国分市海浜公園周辺で実施される。
平成	8年	7月18日	第25回九州地区消防救助技術指導会を当消防本部で開催のため準備を進めてきたが，当日台風6号のため中止となる。
平成	8年	11月26日	霧島分遣所の救急車（2B型トヨタハイエース）を更新。
平成	8年	12月10日	霧島分遣所のタンク車（水-I-A）を更新。
平成	9年	1月 1日	消防長・古賀保氏参事へ。
平成	9年	1月 1日	消防長・池田綱雄氏就任する。（国分市企画課より）
平成	9年	3月25日	救急モニター（救急7点セット）を購入，福山分遣所へ配置。
平成	9年	3月31日	古賀保氏（参事）定年退職。

平成 9年 4月28日 本部・中央署庁舎、避難地用地購入。(取得価格525,272千円)

平成 9年 8月26日 日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け中央消防署へ配置「火災保険号」と命名。

平成 9年11月28日 北署ポンプ車(四輪駆動車)を更新。

平成10年 3月31日 消防吏員1名、定年退職。

平成10年 4月 1日 消防吏員2名を採用(欠員補充)し、合計実人員138名。

平成10年11月 5日 福山分遣所の消防ポンプ自動車(CD-I四輪駆動車)更新。

平成11年 3月31日 消防吏員1名、定年退職。

平成11年 3月31日 消防本部(署)新庁舎落成、4月27日移転する。

平成11年 4月 1日 機構改革を行い本部に予防課を新設するとともに、警防課に救急救助係及び通信指令室を設ける。

平成11年 4月27日 消防緊急通信指令システム(自治省消防庁II型)運用開始。

平成11年 5月24日 国分地区消防組合設立30周年ならびに庁舎落成記念式典を行う。

平成11年 9月 7日 財団法人日本消防協会より可搬消防ポンプ付軽積載車の寄贈を受ける。

平成11年10月13日 中央消防署の消防ポンプ自動車(CD-I)更新。

平成11年12月 9日 北消防署の指揮連絡車を更新する。

平成12年 3月 4日 東九州自動車道(国分IC~隼人東IC間)の開通に伴い救急・消防業務を開始する。

平成12年 4月 1日 消防長・池田綱雄氏退職。(国分市市民福祉部長へ)

平成12年 4月 1日 消防長・福永 洸氏就任する。

平成12年 6月26日 救急モニターを購入、中央消防署へ配置。

平成12年 9月20日 北消防署の梯子車(昭和63年購入)をオーバーホール(第1回目)

平成12年10月11日 福山分遣所の救急車(2B型トヨタ)を更新。

平成13年 3月31日 消防吏員2名定年退職。

平成13年 4月 1日 消防吏員4名を採用(欠員補充)し、合計実人員138名。

平成13年11月10日 国分・隼人ライオンズクラブ(結成40周年)より査察車(トヨタカルディナ)の寄贈を受け本部に配置。

平成13年11月29日 中央消防署の2B型救急車の更新に伴い、高規格救急車(トヨタハイメディック)及び資機材を購入し配置。

平成13年12月13日 隼人分遣所の救急車(平成7年購入2B型)を更新。

平成13年12月19日 中央消防署の救助工作車II型(昭和62年購入)を更新。

平成13年12月19日 消防吏員1名中途退職。(死亡)

平成14年 2月 1日 中央消防署高規格救急車の運用を開始する。

平成14年 3月 2日 東九州自動車道(国分IC~末吉・財部IC間)の開通に伴い、救急・消防業務を開始する。

平成14年 3月31日 消防吏員1名定年退職。

平成14年 4月 1日 消防吏員2名を採用(欠員補充)し合計実人員138名。

平成14年10月 9日 第二代・谷口義一管理者の勇退に伴い、第三代管理者に国分市長鶴丸明人氏が就任。

平成15年 2月12日 福山分遣所庁舎の増改築を行い落成。

平成15年 3月31日 消防吏員2名定年退職。

平成15年 3月31日 消防長・福永 洸氏退任。(国分市収入役へ)

平成15年 4月 1日 消防長・中馬達己氏就任する。(国分市市民福祉部長より)

平成15年 9月30日 エアーテントを購入。

平成15年11月27日 北消防署の救急車（平成7年購入）を2B型高規格対応に更新。

平成16年 3月15日 霧島分遣所の増改築を行い落成。

平成16年 3月31日 資機材搬送車を購入配備。

平成16年 3月31日 消防吏員1名定年退職。

平成16年 7月 9日 第33回九州地区消防救助技術指導会が、国分市海浜公園グラウンドで開催。

平成16年10月 1日 消防吏員2名を採用（欠員補充）し、実人員138名となる。

平成16年11月 2日 旧消防本部中央消防署を解体。

平成16年12月13日 霧島分遣所の救急車（平成8年購入）を2B型高規格対応に更新。

平成16年12月20日 中央消防署梯子車（平成7年購入）をオーバーホール（第1回目）。

平成17年 3月31日 消防吏員2名定年退職。

平成17年 4月 1日 消防吏員2名を採用（欠員補充）し、実人員138名となる。

平成17年10月 1日 消防吏員3名を採用し、実人員141名となる。

平成17年11月 7日 1市6町による行政合併に伴い国分地区消防組合を解散。新たに旧溝辺町、旧横川町が加わるかたちとなり、単独消防として名称が霧島市消防局となる。旧溝辺町14名、旧横川町9名、合計23名と市職員3名を加え、条例定数176名に対し実人員167名となる。同時に機構改革を行い、警防課の通信指令室を情報司令課に昇格し、警防課へ新たに消防団係を設ける。市町合併に伴い管内が拡大されたことにより、それに対応する消防指令センターの改修を行い、同日運用開始。

平成17年11月29日 初代霧島市長に前田終止氏就任。

平成17年12月31日 消防吏員1名が早期退職し実人員166名となる。

平成18年 1月31日 救助工作車Ⅱ型を購入、中央消防署へ配置、従来の救助工作車Ⅱ型（平成13年購入）を溝辺分遣所へ配置。

平成18年 3月25日 2B型高規格対応救急車を購入、隼人分遣所へ配置、従来の救急車を（平成13年度購入）を溝辺分遣所へ配置。

平成18年 3月31日 消防吏員9名退職。（定年退職2名、早期退職7名）

平成18年 4月 1日 消防吏員17名を採用、新たに市職員2名を加え、実人員176名となる。

平成18年 5月 9日 消防吏員1名が退職し、実人員175名となる。

平成18年10月31日 消防局長 中馬達己氏退任（霧島市社会福祉協議会へ）

平成18年11月 1日 消防局長 中村昭氏就任する。（霧島市福山総合支所長より）

平成19年 3月31日 消防吏員6名定年退職。

平成19年 4月 1日 消防吏員7名を採用（欠員補充）し、実人員176名となる。

平成19年 4月 3日 無線中継車を配置（鎌田建設グループより寄贈）

平成19年 4月 3日 消防団連絡車を配置（鎌田建設グループより寄贈）

平成19年 4月 5日 隼人分遣所新庁舎へ移転する。

平成19年12月14日 高規格救急車を購入、溝辺分遣所へ配置。

平成19年12月14日 高規格救急車を購入、横川分遣所へ配置。

平成20年 3月31日 消防吏員8名退職（定年退職6名、早期退職2名）

平成20年 4月 1日 消防吏員8名を採用（欠員補充）し、実人員176名となる。



平成20年 9月27日 静岡県, 谷津氏より救助資材寄贈。  
 平成20年10月22日 出向職員1名本庁へ, 実人員175名となる。  
 平成20年12月15日 北消防署梯子車(昭和63年購入)オーバーホール(第2回目)  
 平成21年 1月15日 高規格救急車を購入, 中央署へ配置。  
 平成21年 3月13日 消防吏員1名退職し, 実人員174名となる。  
 平成21年 3月31日 消防吏員2名退職。(定年退職1名, 早期退職1名)  
 平成21年 3月31日 消防局長 中村昭氏定年退職。  
 平成21年 4月 1日 消防局長 後庵博文氏就任。(中央署長より)  
 平成21年 4月 1日 消防吏員1名を採用(欠員補充)し, 実人員172名となる。  
 平成21年 5月 1日 消防吏員3名を採用(欠員補充)し, 実人員175名となる。  
 平成21年 6月30日 指揮隊車を配置(松山氏より寄贈)  
 平成21年 9月30日 消防吏員2名退職し, 実人員173名となる。  
 平成21年10月20日 北消防署新庁舎へ移転する。  
 平成21年12月14日 中央消防署梯子車(平成7年購入)オーバーホール(第2回目)  
 平成21年12月31日 消防吏員1名退職し, 実人員172名となる。  
 平成22年 3月31日 消防吏員9名退職(定年5名, 早期退職4名)  
 平成22年 3月31日 横川分遣所のタンク車をポンプ車へ更新(CD-I)  
 平成22年 3月31日 中央消防署のタンク車を更新(水-II)  
 平成22年 4月 1日 消防吏員13名を採用(欠員補充)し, 実人員176名となる。  
 平成22年11月26日 統合型位置情報通知装置設置を行う。  
 平成22年12月14日 中央消防署高規格救急車を更新。  
 平成23年 2月28日 消防吏員1名退職し, 実人員175名となる。  
 平成23年 3月14日 東日本大震災(3/11)に伴い, 緊急援助隊 2隊7名を派遣する。  
 平成23年 3月29日 横川分遣所の改修を行い, 落成。  
 平成23年 3月30日 隼人分遣所のタンク車を更新(水I-A)  
 平成23年 3月31日 消防吏員6名退職(定年6名)  
 平成23年 3月31日 消防局長 後庵博文氏定年退職。  
 平成23年 4月 1日 消防局長 田中義春氏就任。(消防局総務課長より)  
 平成23年 4月 1日 消防吏員6名を採用(欠員補充)し, 実人員175名となる。  
 平成23年 5月26日 鹿児島県防災訓練が牧園町霧島高原国民休養地及び周辺地域で実施される。  
 平成23年 8月26日 国分隼人ライオンズクラブ(結成50周年)より査察車(トヨタサクシード)の寄贈を受け本部に配置。  
 平成23年 9月 1日 職員条例定数を改正, 定数を176名から181名とする。  
 消防吏員5名を採用し, 実人員180名となる。  
 平成23年 9月30日 消防吏員1名退職し, 実人員179名となる。  
 平成24年 2月23日 溝辺分遣所のタンク車を更新(水-II)  
 平成24年 3月26日 福山分遣所のポンプ車を更新(CD-I)  
 平成24年 3月28日 北署のポンプ車を更新(CD-I)  
 平成24年 3月31日 消防吏員6名退職(定年退職2名, 早期退職4名)  
 平成24年 4月 1日 消防吏員7名を採用(欠員補充)し, 実人員180名となる。  
 平成24年 8月 2日 消防吏員1名が退職し, 実人員179名となる  
 平成25年 1月31日 中央署の査察車を廃車



平成25年 2月20日 北署の救急車を更新  
平成25年 3月 5日 北署の梯子車を更新（先端屈折式35m級梯子車）  
平成25年 3月18日 中央署のポンプ車を更新（CD-I）  
平成25年 3月21日 霧島分遣所のタンク車を更新（水I-A）  
平成25年 3月31日 消防吏員7名退職（定年退職3名，早期退職4名）  
平成25年 3月31日 消防局長 田中義春氏定年退職  
平成25年 4月 1日 消防局長 塚田修二氏就任（中央署長より）  
平成25年 4月 1日 消防吏員9名採用（欠員補充）し，実人員181名となる。  
平成25年11月25日 自治体消防65周年消防団120周年記念事業（東京）  
平成25年12月20日 中央署，霧島分遣所の高規格救急車を更新  
平成26年 1月30日 北署のタンク車を更新（水I-A）  
平成26年 2月25日 総務省消防庁より緊急消防援助隊用車両として機動連絡車配備  
平成26年 3月31日 消防局長 塚田修二氏定年退職  
平成26年 4月 1日 消防局長 木佐貫誠氏就任（消防局次長より）  
平成26年 4月 1日 市長部局総務部安心安全課に職員1名出向  
平成26年 4月 1日 消防吏員2名採用（欠員補充）し，実人員181名となる。  
平成26年12月 8日 中央署の梯子車（平成7年38m級）を40m級梯子車に更新  
平成27年 3月31日 消防吏員2名定年退職  
平成27年 4月 1日 消防吏員2名採用（欠員補充）し，実人員181名となる。  
平成27年 5月31日 消防吏員2名が退職し179名となる。  
平成27年12月 4日 隼人分遣所の高規格救急車を更新（浜田医院より補助）横川分遣所  
の高規格救急車を更新（平和リース株式会社より補助）  
平成27年12月15日 消防吏員1名が退職し178名となる。  
平成28年 3月31日 消防吏員5名退職、（定年退職4名，普通退職1名）  
平成28年 3月31日 消防局長 木佐貫誠氏定年退職

## 4. 消防局の発足経過

### (イ) 消防局の発足経過

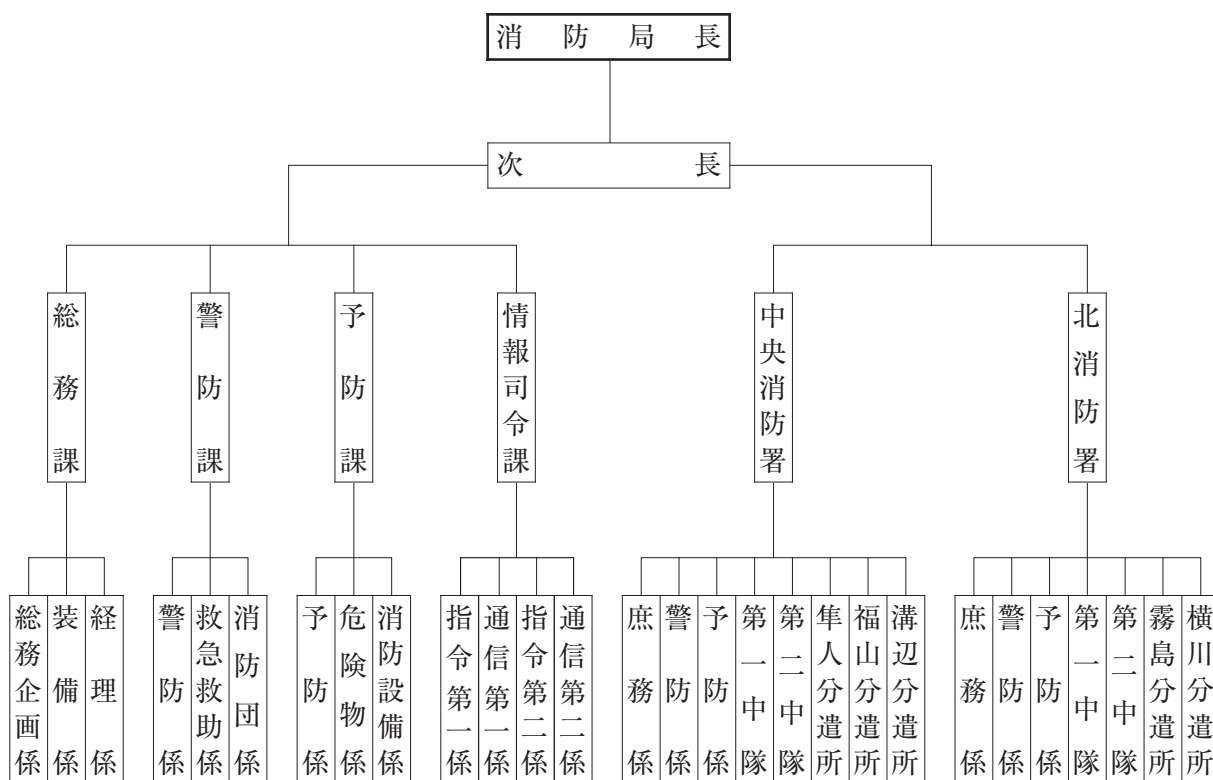
設立年月日	名 称	構 成 市 町	本部署所の設置場所	開設年月日
昭和32年 6月1日	国分市消防本部	国分市	国分市向花 1551	昭和 32 年 6 月 1 日
昭和44年 4月1日	国分市・隼人町 消防組合	国分市・隼人町	隼人分遣所 隼人町内 1333 番地 5	昭和 44 年 5 月 1 日
昭和45年 5月29日	国分市・隼人町 消防組合	国分市・隼人町	消防本部（署）新庁舎 落成移転 国分市向花 862	昭和 45 年 6 月 17 日
昭和46年 4月1日	国分市外 2 町消防 組合	国分市・隼人町 霧島町	霧島分遣所 霧島町田口 495 番地	昭和 47 年 4 月 16 日
昭和47年 10月1日	国分市外 3 町消防 組合	国分市・隼人町 霧島町・牧園町	牧園分遣所 牧園町高千穂小谷 3282 番地 16	昭和 48 年 4 月 10 日
昭和48年 4月1日	国分市外 4 町消防 組合	国分市・隼人町 霧島町・牧園町 福山町	福山分遣所 福山町福山 5342 番地 4	昭和 49 年 9 月 3 日
昭和48年 9月1日	牧園分遣所を北消防署に組織変更する。			
昭和49年 4月1日	国分地区消防組合に名称変更する。			
昭和62年 12月1日	住居表示の改正に伴い、国分市向花862を国分市中央五丁目3番10号に変更			
平成11年 4月20日	新庁舎落成に伴い、国分市向花1291番地1に移転する。			
平成17年 11月7日	市町合併に伴い国分地区消防組合を解散し、霧島市消防局に名称変更する。 国分市向花1291番地1を霧島市国分中央三丁目41番5号に変更			

### (ロ) 消防庁舎の概要

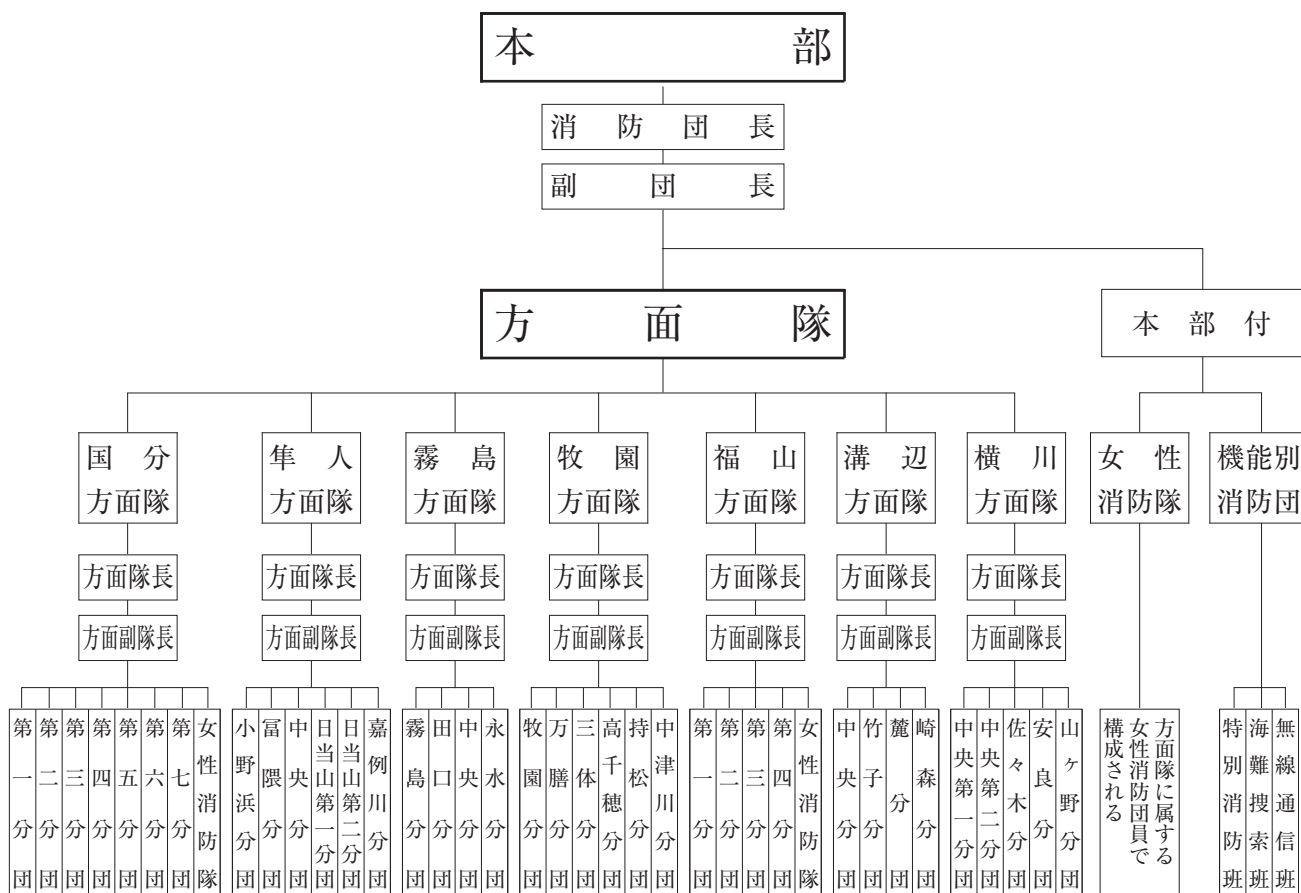
種別		区分	所 在 地	構 造	敷地面積	延床面積	建築面積
消 防 本 部			霧島市国分中央三丁目41番5号	鉄筋コンクリート 4階建（庁舎） 鉄筋コンクリート 6階建（訓練塔）	10,497.00㎡ (避難地駐車場を含む)	4,132.63㎡	2,807.62㎡
中 央 消 防 署 管 轄	中 央 署		霧島市国分中央三丁目41番5号(消防本部に併置)	鉄筋コンクリート 4階建て	10,497.00㎡ (避難地駐車場を含む)	4,132.63㎡	2,807.62㎡
	隼人分遣所		霧島市隼人町西光寺119番地1	鉄筋コンクリート 平屋建て	3,816.00㎡	439.00㎡	463.50㎡
	福山分遣所		霧島市福山町福山5342番地4	鉄筋コンクリート 平屋建て	401.08㎡	176.13㎡	184.55㎡
	溝辺分遣所		霧島市溝辺町麓1616番地39	鉄筋コンクリート 平屋建て	3,718.58㎡	295.52㎡	313.76㎡
北 消 防 署 管 轄	北 署		霧島市牧園町高千穂3855番地122	鉄筋コンクリート 2階建て	8,310.00㎡	1,917.23㎡	1,065.93㎡
	霧島分遣所		霧島市霧島田口495番地	鉄筋コンクリート 平屋建て	880.87㎡	197.65㎡	197.65㎡
	横川分遣所		霧島市横川町上ノ3414番地1	鉄筋コンクリート 平屋建て	2,258.00㎡	233.00㎡	235.00㎡

## 5. 消防局の組織

平成 28. 3. 31 現在



## 6. 消防団の組織



## 7. 消防局財政

(イ) 市予算と消防予算

(単位：千円)

区 分	平成28年度当初 予 算 額
市 一 般 会 計	57,250,000
消 防 費 (水防防災費・災 害対策費は除く)	1,580,343
比 率	2.8%

(ロ) 消防費の内訳

(単位：千円)

区 分	平成28年度当初 予 算 額
常 備 消 防 費	1,302,437
非 常 備 消 防 費	205,192
消 防 施 設 費	72,714
計	1,580,343

(ハ) 消防費と人口の比率

(単位：円)

区 分	消 防 費	1 世 帯 当 たり (59,527世帯)	1 人 当 たり (126,232名)
予 算 額	1,580,343,000	26,548	12,519

## 8. 消防相互応援協定締結状況

協 定 先 の 市 町	協 定 の 内 容	締 結 年 月 日
○鹿児島県	鹿児島県消防相互応援協定	平成18年11月 1日
○鹿児島県	県消防・防災ヘリコプターに関する応援協定	平成10年 6月26日
○鹿児島空港	消火救難活動に関する協定	平成17年11月 7日
○霧島警察署	非常災害相互応援協定	平成18年10月 1日
○横川警察署	非常災害相互応援協定	平成17年11月 7日
○大隅曾於地区消防組合	東九州自動車道における消防相互応援協定	平成17年11月 7日
○始良市消防本部	隼人道路における消防相互応援協定	平成22年 3月23日
○始良市消防本部	消防相互応援協定	平成22年 3月23日
○永井クレーン工業株式会社	災害（事故）発生時における救援作業要請	平成17年12月 1日
○伊佐湧水消防組合	消防相互応援協定	平成21年 2月 1日
○垂水市消防本部	消防相互応援協定	平成17年12月 1日
○大隅曾於地区消防組合	消防相互応援協定	平成17年12月 1日
○都城市	消防・救急業務相互応援協定	平成18年 1月 1日
○宮崎県西諸広域行政事務組合	消防相互応援協定	平成17年12月 1日
○離島市町村・消防組合 中種子町，西之表市，伊仙町， 三島村，徳之島町，天城町 南種子町，十島村 和泊町，知名町，与論町 大島地区消防組合 屋久島町	救急業務応援協定	平成17年12月27日 平成18年 1月10日 平成18年 1月20日 平成18年 2月28日 平成19年10月 1日
○さつま町消防本部	消防相互応援協定	平成18年 2月 1日
○鹿児島県ドクターヘリ運航範囲 市町村 31市町村	鹿児島県ドクターヘリ運航事業における救急車搬送に関する相互応援協定	平成23年12月22日
○有限会社池上クレーン	災害（事故）発生時における救護作業要請	平成26年 2月10日
○大隅肝属地区消防組合	消防・救急業務相互応援協定	平成27年 7月13日





## 2. 人員及び機材





## 1. 消防職員の配置状況

□は研修中及び出向中で内数 平成28. 3. 31現在

職・階級 区 分	消 防 吏 員							その他の職員	計	
	消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士			
消 防 局 長	1								1	
次 長										
消 防 本 部	総 務 課		1	1		3		1□	2	8□
	警 防 課		1	1	1	3		1	2	9
	予 防 課		1	1	2	1	1	1		7
	情報司令課		1	2	4	4				11
	計	1	4	5	7	11	1	3□	4	36□
中 央 消 防 署	署 長		1							1
	副 署 長			1						1
	予 防 係				1					1
	中 央 署			4	3	12	4	20		43
	隼人分遣所			1	4	5		7		17
	福山分遣所			1	4	4		2		11
	溝辺分遣所			1	4	4	1	7		17
計		1	8	16	25	5	36		91	
北 消 防 署	署 長		1							1
	副 署 長			1						1
	予 防 係				1					1
	北 署			4	2	6	2	12		26
	霧島分遣所			1	4	3	1	2		11
	横川分遣所			1	4	4		2		11
	計		1	7	11	13	3	16		51
合 計	1	6	20	34	49	9	55□	4	178□	

## 2. 消防職員の勤続年数

平成28. 3. 31現在

職・階級 区 分	消 防 吏 員							その他の職員	計
	消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士		
5 年 未 満							24		24
5年以上10年未満					9	8	31		48
10年以上15年未満					10	1		1	12
15年以上20年未満					11				11
20年以上25年未満			2	22	14			1	39
25年以上30年未満			9	11	4				24
30 年 以 上	1	6	9	1	1			2	20
合 計	1	6	20	34	49	9	55	4	178

### 3. 消防職員の階級別年齢調べ

平成28. 3. 31現在

年 齢 \ 階級別	消 防 監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	そ の 他 の 職 員	計
20歳未満									
20歳～25歳未満							13		13
25歳～30歳未満						3	34		37
30歳～35歳未満					11	6	8		25
35歳～40歳未満					19			1	20
40歳～45歳未満				17	11				28
45歳～50歳未満			8	13	7			1	29
50歳～55歳未満		2	8	4	1			2	17
55歳以上	1	4	4						9
計	1	6	20	34	49	9	55	4	178
平均年齢	60	55.5	51.5	44.8	38.7	30.1	26.7	46.8	38



#### 4. 過去における教養実施状況

平成28. 3. 31現在

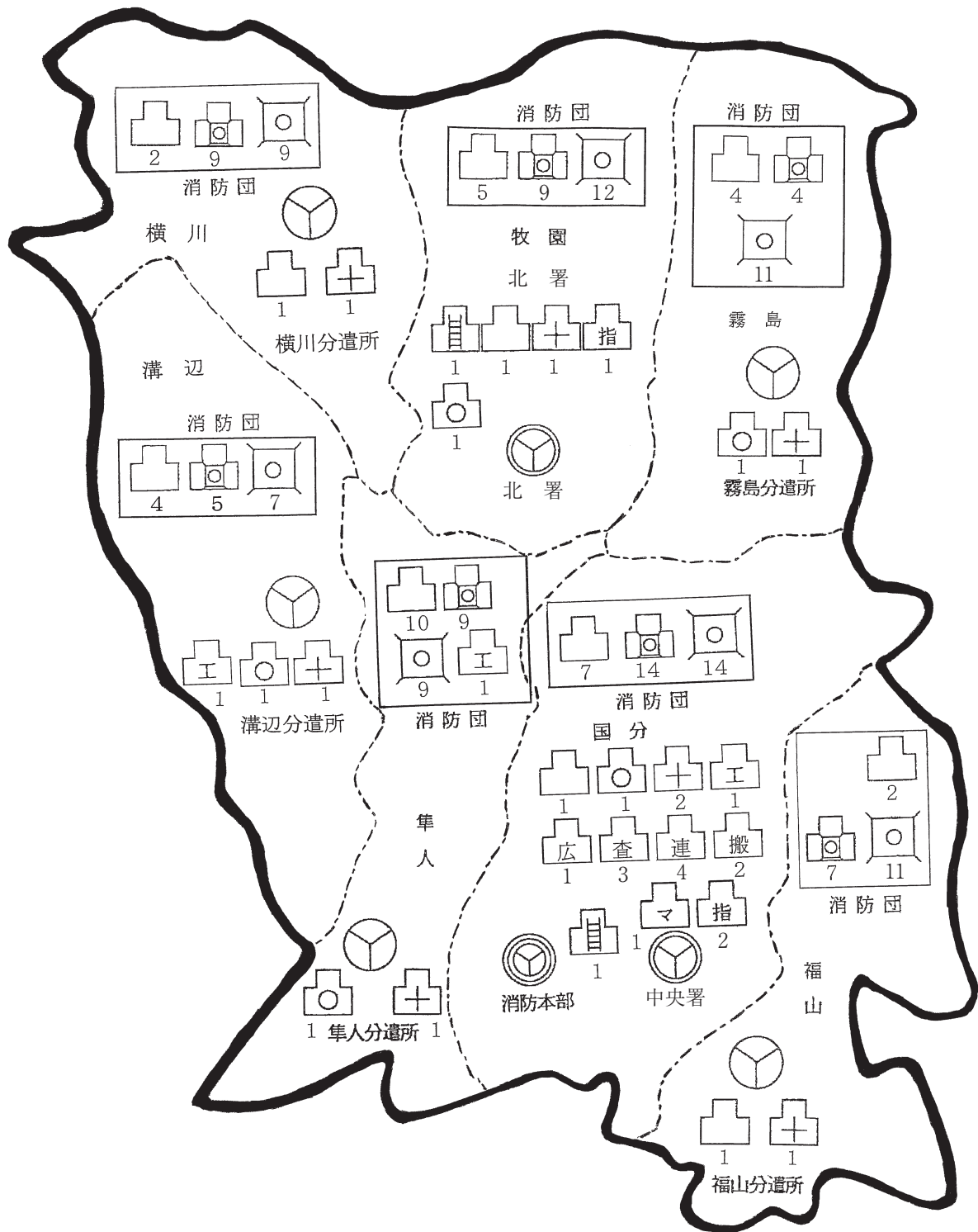
区 分		年度別	平成22年 以 前	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	計
消 防 大 学 校	上 級 幹 部 科		8				1		9
	幹 部 研 修 科		4			1		1	6
	警 防 科		15						15
	予 防 科		10						10
	救 急 科		7						7
	救 助 科		7		1				8
	危 険 物 保 安 科		1						1
	火 災 調 査 ( 講 )		5					1	6
	危 機 管 理 ( 講 )		1						1
県	初 任 科		211	10	4	7	3	2	237
	初 級 幹 部 科		41	1		1		1	44
	中 級 幹 部 科		17		1		1		19
	予 防 査 察 科		46	2		2		2	52
	火 災 調 査 科		17		2		2		21
	警 防 科		11						11
	救 急 科		77	8	8	6	6	5	110
	救 助 科		43	2	2	2	2	2	53
	操 法 審 査 員 研 修		132		14		7		153
他	気 管 挿 管 実 習		20	5	2	3		3	33
	薬 剤 投 与 講 習		18	3				2	23
救 急 救 命 士 研 修			21	2	2	2	2	2	31
指 導 救 命 士 研 修							1		1
処 置 拡 大 認 定 講 習							1	4	5
合 計			712	33	36	24	26	25	856

#### 5. 消防力の現勢

平成28. 3. 31現在

種 別	所 属	本 部	中 央 署	隼 人 所 分 遣 所	福 山 所 分 遣 所	溝 辺 所 分 遣 所	北 署	霧 島 所 分 遣 所	横 川 所 分 遣 所	計
梯 子 車			1				1			2
タ ン ク 車			1	1		1	1	1		5
ポ ン プ 車			1		1		1		1	4
救 急 車			2	1	1	1	1	1	1	8
広 報 車		1								1
指 令 車		1	1				1			3
救 助 工 作 車			1			1				2
マイクロボス		1								1
査 察 車		2	1							3
搬 送 車		2								2
連 絡 車		4								4
そ の 他										
計		11	8	2	2	3	5	2	2	35

## 6. 管内機材配置図



搬	連	広	査	梯	マ	工	○	指	積	救	タ	消	分	消	消	凡
搬送車	連絡車	広報車	査察車	梯子自動車	マイクローバス	救助工作車	小型ポンプ	指令車	積載車	救急車	タンク車	消防ポンプ車	分遣所	消防署	消防本部	例

## 7. 機材配置表

平成28. 3. 31現在

品名	数	配置場所						
		中央	隼人	福山	溝辺	北署	霧島	横川
空気呼吸器	55	22	5	4	6	10	4	4
空気ボンベ	163	68	13	10	18	35	10	9
エンジンカッター	3	1			1	1		
発泡ノズル	8	2	1	1	1	1	1	1
発動発電機	8	2	1	1	1	1	1	1
携帯発動発電機	12	3	1	1	3	2	1	1
投光器	13	4	1	1	2	3	1	1
エアーソー	3	1			1	1		
救命索発射銃	3	1			1	1		
可搬用ウインチ	9	2	1	1	2	1	1	1
緩降機	3	1			1	1		
チェーンソー	7	1	1	1	1	1	1	1
油圧張力計	3	1				1		1
ポートパワー	3	1			1	1		
救助用ボート	2	2						
安全縛帯	12	5			2	5		
耐熱服	3				3			
耐電長靴	9	4			2	3		
耐電手袋	9	4			2	3		
ジェットシューター	35	7	3	5	6	5	3	6
エアーバグ	3	1			1	1		
エアーツール	2	1			1			
レサシアン	32	24		1	2	4		1
エアーテント	2	2						

品名	数	配 置 場 所						
		中央	隼人	福山	溝辺	北署	霧島	横川
酸素ボンベ	56	15	7	5	7	9	6	7
レスキューツール	3	1			1	1		
救助マット	1	1						
ガス検知器	7	1	1	1	1	1	1	1
ガス溶断器	1	1						
バスケットストレッチャー	5	2			1	2		
救命胴衣	35	14	4	3	7	7		
ウェットスーツ	5	5						
送排風機	4	2			1	1		
油圧ジャッキ	3	1			2			
防塵カッター	2	1				1		
化学防護服	4	4						
保護服	5				5			
自動心臓マッサージシステム	7	1	1	1	1	1	1	1
防毒マスク	26	8	3	3	3	3	3	3
NBC災害対策用除染装置	1	1						

## 8. 職員の特殊技能資格取得状況

平成28. 3. 31現在

免許等種別		階 級		消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副 士長	消 防 士	事 務 員	合 計
		大 型	普 通									
自動車運転免許	一 種	大 型			5	24	29	42	19	32	1	152
		普 通	1		6	25	30	45	20	50	3	180
	二 種	大 型			1		1					2
		普 通					1					1
	自 動 二 輪				2	12	5	15	11	16	2	63
消防設備士		甲種4類			1							1
		乙種1類					1					1
		乙種4類										
		乙種6類				1		5	1			7
危険物取扱者		甲 種						1				1
		乙 種			2	16	27	41	16	21		123
		丙 種				1	1					2
予防技術者		査 察			2	22	12	11	5	4		56
		設 備				5	3	4	1	0		13
		危 険 物				2	2	2		1		7
	防 災 士				1							1
	陸上特殊無線				1	7	18	27	1	2		56
	アマ無線				1	2	3	1				7
	小型船舶				1	8	8	13	3	4		37
	小型移動式クレーン				2	10	10	12		3		37
	玉 掛 け				2	10	10	12		4		38
	ガス・アーク溶接				2	4	10	7	1	7		31
	アクアラング講習					3	2	1				6
	スキューバ					1		2				3
	潜水士					4	1	6	2	3		16
	ロープレキュー講習					2		4	1	1		8
	スイフトウォーターレスキュー講習						3	3		2		8
救急救命士		資 格 者			2	4	11	15	2	14		48
		気管挿管認定			2	4	11	14	1	2		34
		薬剤認定			2	4	11	15	2	13		47
		処置拡大認定				1	4					5
		指導救命士					1					1
	応急手当普及指導員				6	25	30	45	17	14		137
	J P T E C 講習				1	4	12	18	5	6		46
	M C L S 講習				1	4	5	6	3			19



## 9. 平成27年度における主たる行事

月 日	行 事 名	実 施 場 所
4月14日	市長観閲式	消 防 本 部
5月21日	鹿児島県防災訓練（長島町） 霧島市防災訓練（溝边上床公園）	志 布 志 市
5月29日	鹿児島県消防救助技術指導会 （口之永良部噴火により途中で終了）	県 消 防 学 校
7月24日	第44回 九州地区消防救助技術指導会	福 岡 県 市 北 九 州
7月 5日	霧島市消防団 球技大会（雨天中止）	春 山 グ ラ ウ ン ド
7月 9日・10日	防火管理者(甲種)資格取得講習会	消 防 本 部
8月 2日	海難救助訓練	国 分 漁 港
8月 9日	始良伊佐支部消防団 球技大会	春 山 グ ラ ウ ン ド
8月29日	第44回 全国消防救助技術大会	兵 庫 県 市 神 戸
9月10日	防火管理者再講習	消 防 本 部
9月13日	霧島連山 山岳救助訓練（合同）高千穂	署 ・ 団
10月29日	鹿児島空港（消火・救護訓練）	鹿 児 島 空 港
11月 7日・ 8日	緊急消防援助隊合同訓練	大 分 市
11月 8日	防災フェスタ IN きりしま （市制施行10周年記念事業）	消 防 本 部
11月 9日～15日	秋季火災予防運動及び合同演習	署 所 団
11月19日・20日	防火管理者(甲種)資格取得講習会	消 防 本 部
11月20日	霧島市防災機関会議	消 防 本 部
1月 6日	「消防出初式」	市 民 会 館
1月26日	文化財防火デー訓練	鹿 児 島 ・ 霧 島 神 宮
3月 1日～ 7日	春季火災予防運動及び合同演習 外郭団体(防災協会・婦人・幼少年)防火広報	署 所 団 霧 島 市 一 円
3月16日	防火防災管理者再講習	消 防 本 部

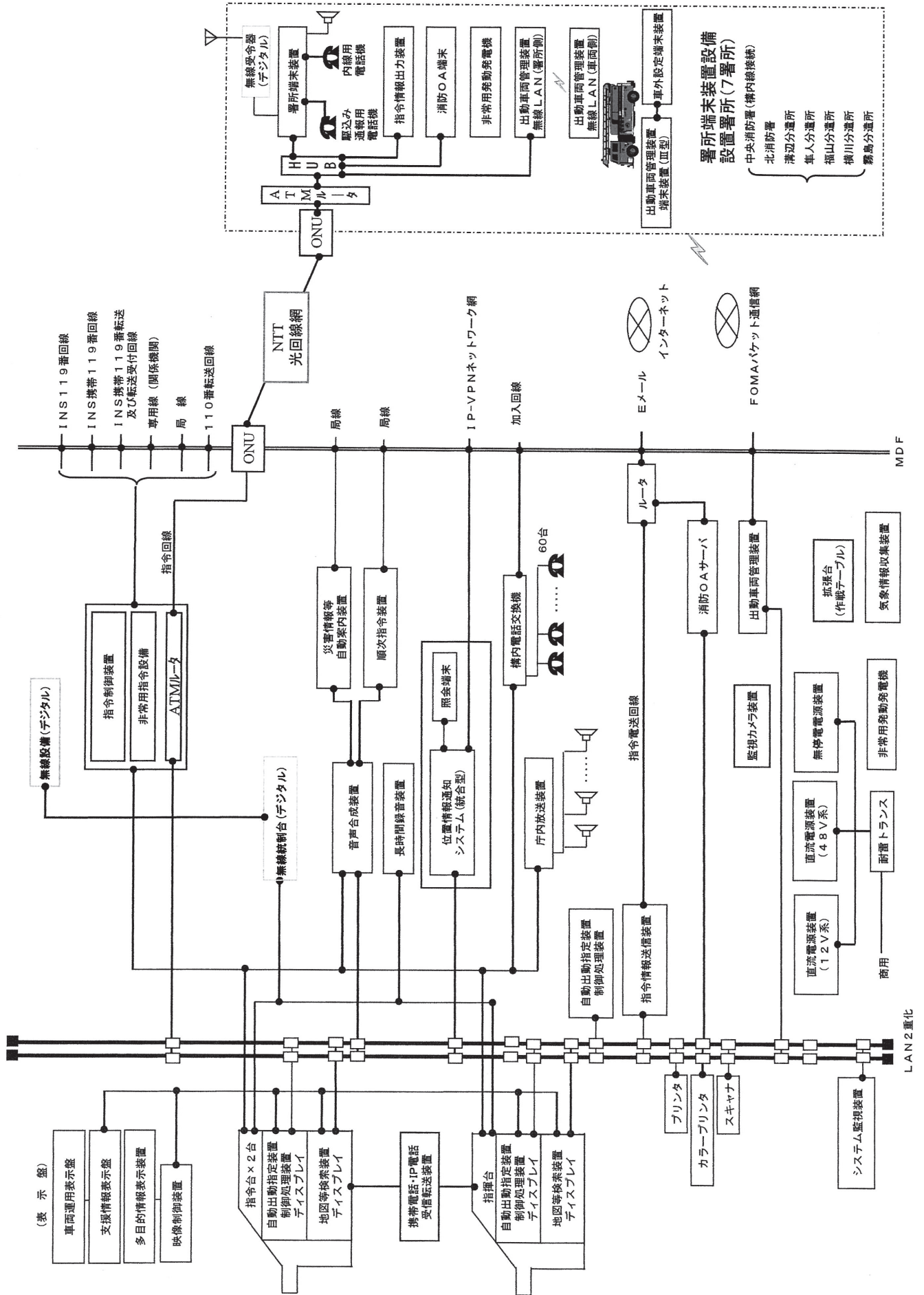
### 3. 通信及び水利





# 1. 通信系統図

## 高機能消防指令センターシステム構成図



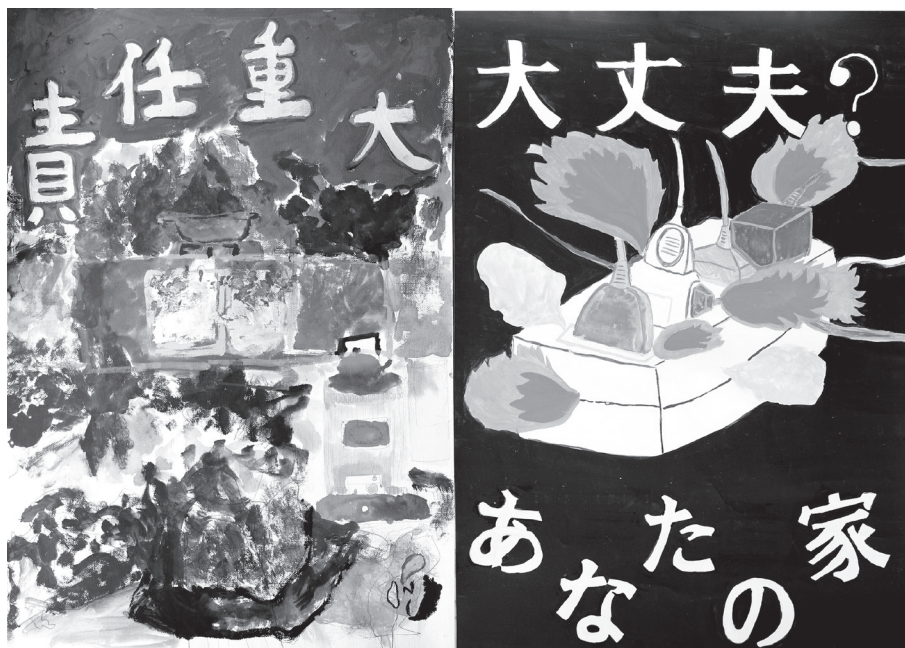
## 2. 消防水利の現況

平成28. 3. 31現在

種 別		地区別	合	国	隼	霧	牧	福	溝	横
		計	分	人	島	園	山	辺	川	
合 計			2,825	903	625	260	305	236	279	217
消 火	公 設	150mm以上	498	257	157	7	4	24	26	23
		150mm未満	1,138	349	297	38	157	64	113	120
栓	私 設	150mm以上	85			78	2		5	
		150mm未満	169	30	19	67	46	3	4	
小 計			1,890	636	473	190	209	91	148	143
貯 水	公 設	4 0 m <sup>3</sup> 以上	441	54	28	62	55	99	102	41
		20 m <sup>3</sup> ~ 40 m <sup>3</sup> 未 満	201	50	70	4	8	38	9	22
		2 0 m <sup>3</sup> 未 満	199	132	23		26	7	6	5
槽	私 設	4 0 m <sup>3</sup> 以上	62	19	19	1	5		12	6
		20 m <sup>3</sup> ~ 40 m <sup>3</sup> 未 満	28	12	10	3	2	1		
		2 0 m <sup>3</sup> 未 満	4		2				2	
小 計			935	267	152	70	96	145	131	74



# 4. 予 防





# 1. 防火対象物数

※法17条対象物：消防用設備等が必要な防火対象物

平成28.3.31現在

防火対象物		地区別	合計	国分	隼人	福山	溝辺	牧園	霧島	横川
合 計			4,718	2,124	1,103	305	428	393	200	165
1	イ	劇場, 映画館等	12	4		1	2	4		1
	ロ	公会堂又は集会場	82	34	15	13	3	6	4	7
2	イ	キャバレー, カフェ等								
	ロ	遊技場又はダンスホール	13	8	2	1		1		1
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗								
	ニ	カラオケボックス等	5	3	2					
3	イ	待合, 料理店等								
	ロ	飲食店	105	60	24	5	8	3	4	1
4		百貨店, マーケット等	182	102	49	5	12	5	4	5
5	イ	旅館, ホテル等	159	15	34		2	51	56	1
	ロ	寄宿舎, 下宿, 共同住宅	1,359	733	432	24	84	40	16	30
6	イ	病院, 診療所等	128	55	52	7	3	5	3	3
	ロ	養護老人ホーム等	85	21	28	7	5	7	12	5
	ハ	老人デイサービスセンター等	146	74	27	10	11	9	11	4
	ニ	幼稚園, 特別支援学校	27	9	6	9	1	2		
7		小, 中, 高, 大学, 専門学校等	227	89	62	21	12	22	10	11
8		図書館, 美術館等	14	2	3	4	1		3	1
9	イ	蒸気浴場, 熱気浴場等								
	ロ	(イ)以外の公衆浴場	35	6	15		1	9	2	2
10		車両の停車場等	4				3		1	
11		神社, 寺院等	34	6	6	2	4	7	7	2
12	イ	工場又は作業場	508	173	112	43	83	44	22	31
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ								
13	イ	自動車車庫又は駐車場	59	10	6	1	34	5	2	1
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	7		1		6			
14		倉庫	310	111	46	28	65	32	11	17
15		前各項に該当しない事業場	668	298	75	107	59	85	10	34
16	イ	特定複合用途対象物	307	172	54	7	15	35	17	7
	ロ	(イ)以外の複合用途対象物	239	139	52	10	14	21	2	1
17		重要文化財等	3						3	

## 2. 防火対象物数

※法8条対象物：防火管理者を必要とする防火対象物

平成28.3.31現在

防火対象物		地区別	合計	国分	隼人	福山	溝辺	牧園	霧島	横川
合 計			1,119	522	263	59	81	101	56	37
1	イ	劇場, 映画館等	6	2		1	2	1		
	ロ	公会堂又は集会場	78	35	13	13	3	6	4	4
2	イ	キャバレー, カフェ等								
	ロ	遊技場又はダンスホール	9	4	2	1		1		1
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗								
	ニ	カラオケボックス等	6	4	2					
3	イ	待合, 料理店等								
	ロ	飲食店	96	60	23	5	7	1		
4		百貨店, マーケット等	109	66	27	3	5	2	2	4
5	イ	旅館, ホテル等	70	8	21		1	31	8	1
	ロ	寄宿舎, 下宿, 共同住宅	85	41	24		13	1	1	5
6	イ	病院, 診療所等	50	31	13	2	1	2	1	
	ロ	養護老人ホーム等	64	20	22	4	3	4	8	3
	ハ	老人デイサービスセンター等	77	39	16	3	6	2	8	3
	ニ	幼稚園, 特別支援学校	15	7	5	1	1	1		
7		小, 中, 高, 大学, 専門学校等	56	22	11	3	5	9	3	3
8		図書館, 美術館等	5	1	2	1			1	
9	イ	蒸気浴場, 熱気浴場等								
	ロ	(イ)以外の公衆浴場	17	5	12					
10		車両の停車場等	1				1			
11		神社, 寺院等	14	1	6	1	2	3	1	
12	イ	工場又は作業場	28	13	6		4	2	1	2
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ								
13	イ	自動車車庫又は駐車場	4					4		
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	1				1			
14		倉庫	13	2	1		3	7		
15		前各項に該当しない事業場	84	30	17	11	13	5	4	4
16	イ	特定複合用途対象物	202	118	33	9	8	16	12	6
	ロ	(イ)以外の複合用途対象物	28	13	7	1	2	3	1	1
17		重要文化財等	1						1	

### 3. 消防法等に基づく届出状況

この届出は火災予防上に役立てるためのもので、防火対象物、危険物施設等の関係者が消防署に届け出ることであります。

平成27. 4. 1～平成28. 3. 31

区 分		地区別	合 計	国 分	隼 人	福 山	溝 辺	牧 園	霧 島	横 川
合 計			3,927	1,639	842	228	418	386	246	168
法 関 係	防火管理者選任（解任）届		275	108	64	23	38	20	14	8
	消防計画作成（変更）届		291	122	70	25	27	20	16	11
	圧縮アセチレンガス等届		123	71	31	2	5	6	5	3
	消防用設備等点検結果報告		1,490	554	332	83	219	151	93	58
	避難訓練実施届		1,228	544	261	73	92	126	79	53
条 例 関 係	防火対象物使用開始届		121	74	25	2	8	3	8	1
	炉の設置届		10	5						5
	厨房設備設置届									
	温風暖房機設置届									
	給湯湯沸及びボイラー設備届		13	6	1	2	1	1		2
	乾燥設備設置届		1	1						
	サウナ設備設置届									
	ヒートポンプ冷暖房機設置届									
	火花を生じる設備設置届									
	放電加工機設置届									
	変電、発電設備設置届		50	15	9	5	4	12	4	1
	蓄電池設備設置届		26	8	5	2	6		2	3
	ネオン管灯設置届									
	水素ガスを充填する気球届									
	煙火打ち上げ届		90	46	16	5	6	7	3	7
	催物の開催届		8	2	1		2	2	1	
	露店等の開設届		86	33	13	4	5	15	13	3
	少量危険物貯蔵取扱い届		46	15	5		5	15	5	1
	指定可燃物貯蔵取扱い届		8	7	1					
申 請	消防法令適合通知書等		5		1			4		
	特例申請等		5	4				1		
罹災証明等（火災証明等）			51	24	7	2		3	3	12



#### 4. 中高層防火対象物調べ

別表区分		地区別	防											火				
			合						計					国			分	
		3	4	5	6	7	8以上	計	3	4	5	6	7	8以上	計			
1	イ	劇場・映画館等	2						2	1					1			
	ロ	公会堂又は集会場	3						3									
2	イ	キャバレー・カフェ等																
	ロ	遊技場又はダンスホール	2						2	1				1				
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗																
	ニ	カラオケボックス等																
3	イ	待合・料理店等																
	ロ	飲食店	7	1	1	1			10	7	1	1	1		10			
4		百貨店・マーケット等	6	1					7	6	1				7			
5	イ	旅館・ホテル等	22	11	4	2	4	10	53	2	1	1		1	2	7		
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	291	231	45	10	9	23	609	165	125	34	6	8	20	358		
6	イ	病院・診療所等	22	5	5	1			33	7	3	2	1		13			
	ロ	養護老人ホーム等	10		1				11	2		1			3			
	ハ	老人デイサービスセンター等	7						7	7					7			
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	1						1	1					1			
7		小・中・高・大学・専門学校等	60	8	4		1		73	26	4	3		1	34			
8		図書館・美術館等																
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等																
	ロ	(イ)以外の公衆浴場	1						1	1					1			
10		車両の停車場等	1		1				2									
11		神社・寺院等																
12	イ	工場又は作業場	17	3	3	5			28	10	2	3	4		19			
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	2						2									
13	イ	自動車車庫又は駐車場																
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	1						1									
14		倉庫	3						3	3					3			
15		前各項に該当しない事業場	40	5	1	2	1	1	50	24	3		2	1	1	31		
16	イ	特定複合用途防火対象物	52	11	11	5	2	5	86	34	9	11	5	2	2	63		
	ロ	(イ)以外の複合用途防火対象物	38	7	7	1	1	2	56	21	6	6			1	34		
		合計	588	283	83	27	18	41	1,040	318	155	62	19	13	26	593		





## 5. 中高層建築物状況

平成28. 3. 31現在

階数 地区別	合計	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階
国 分	593	318	155	62	19	13	4	3	6	3	1	2	7
隼 人	255	150	82	9	6	1	2	1		1	1	2	
福 山	37	32	3	2									
溝 辺	49	25	17	4		1	2						
牧 園	60	38	8	6	2	2	3	1					
霧 島	20	17				1		1					1
横 川	26	8	18										

## 6. 建築同意事務処理状況

平成27. 4. 1～平成28. 3. 31

区分 地区別	合 計	新 築	増 築	改 築	移 転	修 繕	用途変更	建築通知 その 他
合 計	696	157		17			6	516
本 部	10	9		1				
中 央 署	657	146		15			2	494
北 署	29	2		1			4	22

## 7. 消防用設備等設置届処理状況

平成27. 4. 1～平成28. 3. 31

設備別	地区別	合 計	国 分	隼 人	福 山	溝 辺	牧 園	霧 島	横 川
消 火 器	設置届	89	48	26	2	10	2		1
	検査済	85	48	25	2	9			1
屋内消火栓設備	設置届	10	6	1		1		1	1
	検査済	10	6	1		1		1	1
屋外消火栓設備	設置届								
	検査済								
スプリンクラー設備	設置届	22	5	11	1	4	1		
	検査済	20	4	11	2	3			
特殊消火設備	設置届	2	1				1		
	検査済	1	1						
動力消防ポンプ	設置届	1	1						
	検査済	1	1						
自動火災報知設備	設置届	108	52	21	6	14	13	1	1
	検査済	68	37	21	3	5		1	1
非常警報設備	設置届	20	10	7		1	2		
	検査済	18	11	6		1			
火災通報設備	設置届	26	8	11	3	2		1	1
	検査済	23	6	11	1	3		1	1
避難器具	設置届	12	9	2	1				
	検査済	11	8	2	1				
誘 導 灯	設置届	93	49	22	3	9	8	1	1
	検査済	77	44	22	3	6		1	1
連結送水管	設置届	1	1						
	検査済	2	2						
消 防 用 水	設置届								
	検査済								
非常放送設備	設置届	9	1	4		2		2	
	検査済	7	1	4				2	
非常コンセント設備	設置届	1	1						
	検査済	1	1						

## 8. 防火・防災管理者資格取得状況

年 度	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
甲種防火管理 新規講習	156	155	151	157	159	146	140
甲種防火管理 再講習	28	42	14	23	23	26	21
防災管理 新規講習	33	8				18	
防火・防災管理 再講習						4	2

## 9. 予防技術資格者認定状況

区 分	資 格	資格者数
防火査察員	告示第1条第1号	11
	附則第4項	34
消防設備専門員	告示第1条第1号	5
	附則第4項	6
危険物専門員	告示第1条第1号	4
	附則第4項	
合 計		60



10. 法8条の2の2対象物数 (防火対象物の点検及び報告)

平成28. 3. 31現在

防火対象物の区分		対 象 物 数								
		計	地区別	国 分	隼 人	福 山	溝 辺	牧 園	霧 島	横 川
1	イ	7		2		1	2	1		1
	ロ	41		13	10	8	2	2	3	3
2	イ									
	ロ	6		5	1					
	ハ									
3	イ									
	ロ	4(3)		4(3)						
4		23		15	8					
5	イ	14(4)		1	3(1)		1	7(3)	2	
6	イ	5		2	2	1				
	ロ									
	ハ									
9	イ									
	ロ	8(1)						8(1)		
16	イ	21(3)		11(3)	6	2	1			1
16の2										
計		131(11)		53(6)	31(1)	13	6	18(4)	5	5

うち ( ) は特定一階段等防火対象物

11. 法8条の2の3対象物数 (防火対象物の点検及び報告の特例)

平成28. 3. 31現在

防火対象物の区分		対 象 物 数								
		計	地区別	国 分	隼 人	福 山	溝 辺	牧 園	霧 島	横 川
1	イ	3					1	1		1
	ロ	20		1	7	8		1	3	
2	イ									
	ロ	2		2						
	ハ									
3	イ									
	ロ									
4		7		5	2					
5	イ	5		1			1	1	2	
6	イ	1			1					
	ロ									
	ハ									
9	イ									
	ロ	1				1				
16	イ	8		4	4					
16の2										
計		47		13	14	9	2	3	5	1

## 12. 危険物施設許可状況

平成27. 4. 1～平成28. 3. 31

施設区分	許 可		完 成 検 査		廃 止
	設 置	変 更	設 置	変 更	
屋外タンク貯蔵所					1
地下タンク貯蔵所					
屋内貯蔵所	2		3		
給油取扱所	1	5	3	5	3
一般取扱所		13	1	14	2
屋外貯蔵所					3
第一種販売取扱所					
第二種販売取扱所					
移動タンク貯蔵所	4	5	4	5	4
屋内タンク貯蔵所					
計	7	23	11	24	13

## 13. 数量別危険物施設状況

平成28. 3. 31現在

施設区分 数量別	計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	地 下 貯 蔵 所	簡 易 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	移 動 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	第 二 種 販 売 所	第 一 種 販 売 所
5倍以下	150		14	42	2	39		5	16	4	27		1
5倍をこえ 10倍以下	73		5	27	3	17			4	6	10		1
10倍をこえ 50倍以下	83		9	6	2	13			19	23	11		
50倍をこえ 100倍以下	27		2	1		4			2	17	1		
100倍をこえ 150倍以下	14		1	1						12			
150倍をこえ 200倍以下	15									15			
200倍を こえるもの	27		1	4		2				18	2		
計	389		32	81	7	75		5	41	95	51		2

## 14. 危険物施設等の手数料収入状況

平成27. 4. 1～平成28. 3. 31 (単位：千円)

区分 地区別	計	許可手数料		完成 検査 手数料	タンク検査手数料				仮貯蔵 仮取扱 手数料	仮使用 手数料
		設置	変更		水 検	張 査	水 検	圧 査		
国分	731.8		381.5	285.5					64.8	
隼人	245.9	52	91	97.5					5.4	
霧島	39		26	13						
牧園	32.8				22			10.8		
福山	44.4		26	13					5.4	
溝辺	318.15	150	58.5	104.25					5.4	
横川	80	20	26	23	11					
計	1,492.05	222	609	536.25	33			10.8	81	

## 5. 火 災





## 1. 火災の概況

平成27年中の火災件数は63件で前年と比べると3件の減少となっています。火災種別では建物火災が火災全体の46%を占める29件で前年より13件減、林野火災3件、車両火災8件、その他の火災23件となっています。焼損面積は2,047㎡で前年より592㎡減、損害額は50,522千円で前年より103,493千円の減少となりました。

項目	年	平成27年	平成26年
(1) 総出火件数		63件	66件
(2) 火災件数内訳	建物	29件	建物 42件
	林野	3件	林野 7件
	車両(船)	8件	車両(船) 7件
	その他	23件	その他 10件
(3) 損害額		50,522千円	154,015千円
(4) 死傷者数	死者	1名	死者 6名
	負傷者	4名	負傷者 8名
(5) 罹災世帯数		26世帯	35世帯
(6) 罹災人員		56人	65人
(7) 焼損面積	建物	2,047㎡	建物 2,639㎡
	林野	7 a	林野 13 a
(8) 出火原因	1位 放火・放火の疑い	12件	1位 たき火 7件
	2位 たき火	6件	2位 コンロ 6件
	3位 排気管	4件	3位 内燃機関 4件
(9) 一日あたりの出火件数		0.17件	0.18件
(10) 住民一人あたりの損害額		398円	1,210円
(11) 一日あたりの損害額		138千円	422千円
(12) 火災1件あたりの損害額		802千円	2,333千円









### 3. 時間別火災発生状況

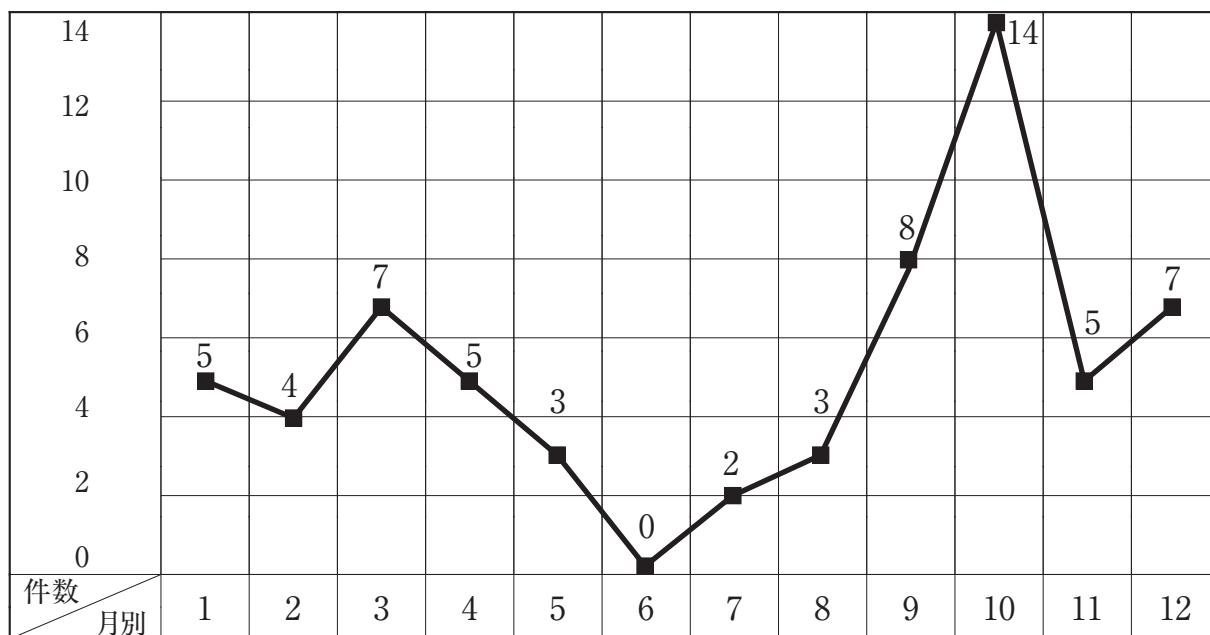
(平成27年中)

月別 時間別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
0 ~ 2								1 (1)					1 (1)
2 ~ 4		1 (1)						1 (1)		1			3 (2)
4 ~ 6	1 (1)		1 (1)	1						2	1		6 (2)
6 ~ 8		1							1 (1)	2 (1)		2 (1)	6 (3)
8 ~ 10										1			1
10 ~ 12	1		2 (1)	2 (1)	1 (1)				1				7 (3)
12 ~ 14		1	1 (1)		1 (1)				1 (1)	1 (1)	2 (1)	1	8 (5)
14 ~ 16		1	1		1 (1)		1			1	1 (1)	2 (1)	8 (3)
16 ~ 18													
18 ~ 20	1 (1)		2 (1)	1 (1)							1 (1)		5 (4)
20 ~ 22				1 (1)			1					2 (2)	4 (3)
22 ~ 24	1 (1)									2			3 (1)
不 明	1 (1)							1 (1)	5	4			11 (2)
計	5 (4)	4 (1)	7 (4)	5 (3)	3 (3)		2	3 (3)	8 (2)	14 (2)	5 (3)	7 (4)	63 (29)

( ) 内数は建物火災件数を再掲

#### 4. 月別火災発生状況

(平成27年中)

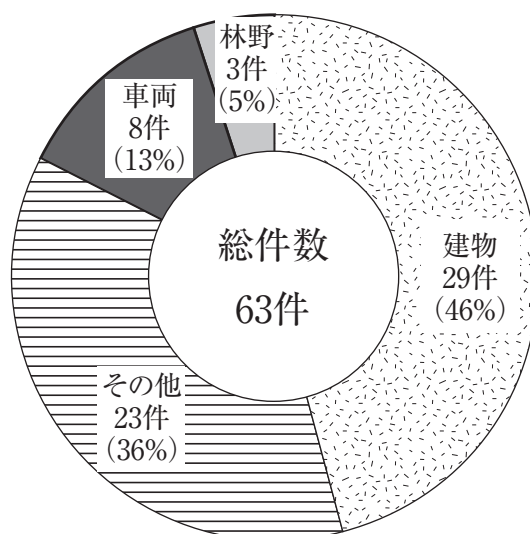


#### 5. 種別・月別火災発生状況

(平成27年中)

種別	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
建物		4	1	4	3	3			3	2	2	3	4	29
林野		1		1									1	3
車両				1				2			3	1	1	8
その他			3	1	2					6	9	1	1	23
合計		5	4	7	5	3		2	3	8	14	5	7	63

#### 6. 種別火災件数比較 (平成27年中)



## 7. 月別火災発生状況（地区別）

（平成27年中）

地区別 月別	国分	隼人	福山	溝辺	牧園	霧島	横川	計
1月		1 (6,910)	2 (11,168)		1 (70)		1 (1,252)	5 (19,400)
2月	1		1 (136)	1			1 (340)	4 (476)
3月	1 (247)			3 (3,193)	1 (119)	1 (143)	1 (630)	7 (4,332)
4月	2 (80)	1 (52)		1 (111)			1 (66)	5 (309)
5月		2 (3,938)		1 (2,202)				3 (6,140)
6月								
7月		1 (310)					1 (18)	2 (328)
8月	2 (33)				1 (26)			3 (59)
9月	2 (4,472)	5 (445)					1 (10)	8 (4,927)
10月	2	9 (256)	1 (775)	1 (2,000)	1 (70)			14 (3,101)
11月	1 (2,267)			1 (104)	1 (3,156)	1 (284)	1 (13)	5 (5,824)
12月	4 (3,014)		1 (2,610)	1 (2)		1		7 (5,626)
合計	15 (10,113)	19 (11,911)	5 (14,689)	9 (7,612)	5 (3,441)	3 (427)	7 (2,329)	63 (50,522)

（ ）内損害額 単位（千円）

## 8. 気象別火災発生状況

(平成27年中)

### 《 風 向 別 》

風 向	北	北北西	北西	西北西	西	西南西	南西	南南西	南	計
件数	5	3	2	3	2	4	1	2	6	
風 向	南南東	南東	東南東	東	東北東	北東	北北東	無風	不明	63
件数	1	1	1	2	1	6	10	5	8	

### 《 風 速 別 》

風速 (s/m)	0~2	3~4	5~6	7~8	9~10	11以上	不明	計
件数	32	18	5				8	63

### 《 天 候 別 》

天候	晴	曇	雨	雪	不明	計
件数	41	12	2		8	63

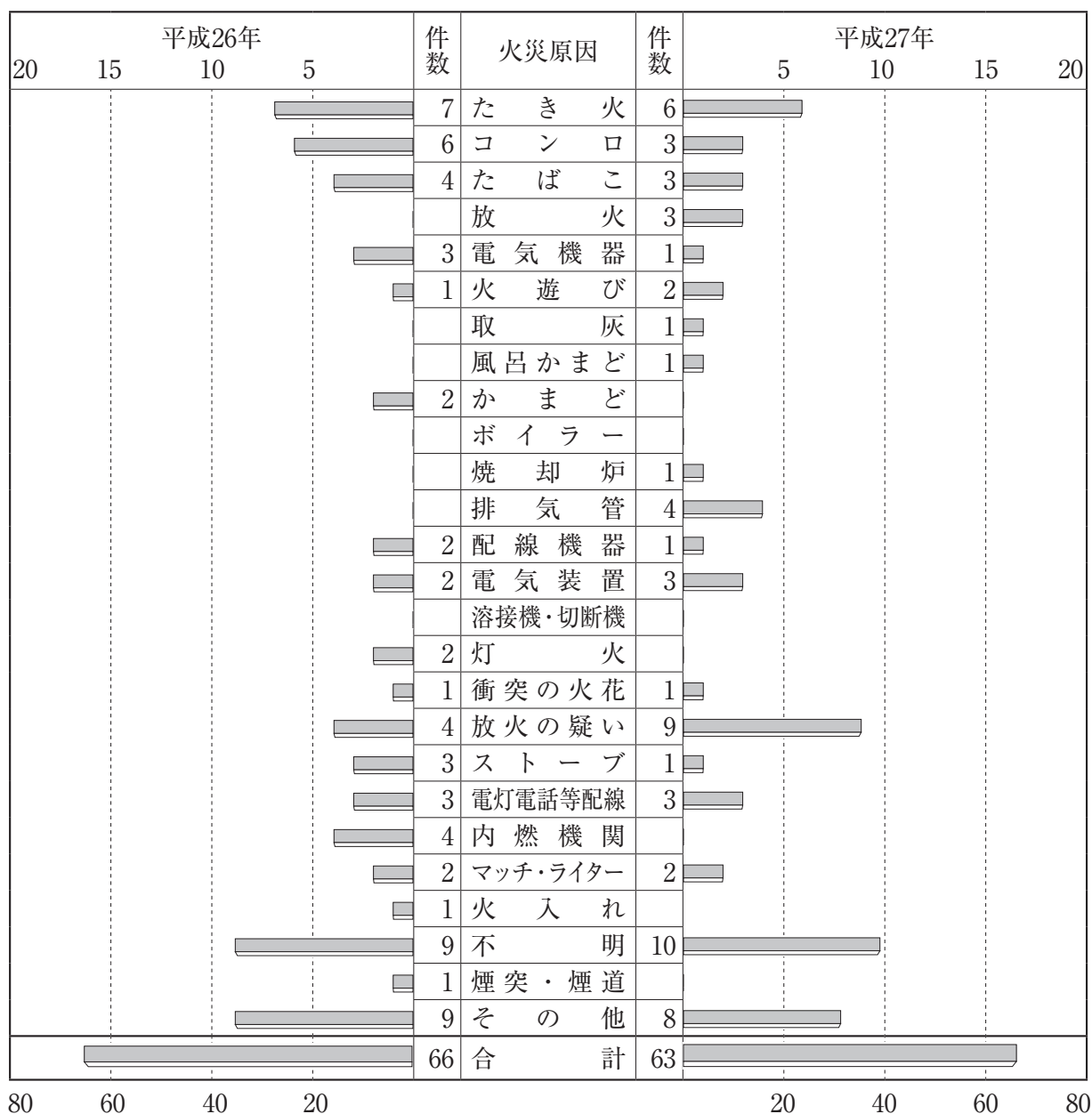
### 《 湿 度 別 》

湿度 (%)	39 以下	40 ~ 49	50 ~ 59	60 ~ 69	70 ~ 79	80 ~ 89	90 ~ 100	不 明	計
件数	3	8	7	9	8	7	13	8	63

### 《 温 度 別 》

温度 (℃)	零 下	0 ~ 5	6 ~ 10	11 ~ 15	16 ~ 20	21 ~ 25	26 ~ 30	31 以上	不 明	計
件数		3	6	9	17	9	10	1	8	63

## 9. 前年との火災発生原因別比較表





## 10. 時間別火災発生状況

(平成27年中)

区 分 時 間	件 数	建 物	林 野	車 両	そ の 他	焼損面積		損害額 (千円)
						建 物 (㎡)	林 野 (a)	
0 ~ 2	1	1				1		26
2 ~ 4	3	2		1		24		942
4 ~ 6	6	2			4	153		7,245
6 ~ 8	6	3		1	2			2,437
8 ~ 10	1			1				70
10 ~ 12	7	3	1		3	531	3	3,766
12 ~ 14	8	5		2	1	407		10,830
14 ~ 16	8	3	1	2	2	246	2	3,428
16 ~ 18								
18 ~ 20	5	4	1			407	2	14,533
20 ~ 22	4	3		1		202		5,307
22 ~ 24	3	1			2	76		1,376
不 明	11	2			9			562
計	63	29	3	8	23	2,047	7	50,522

## 11. 曜日別火災発生件数

(平成27年中)

種 別	曜 日									計
	日	月	火	水	木	金	土	不明		
建 物	3	2	3	7	7	4	2	1	29	
林 野		1		1			1		3	
車 両	1		2	2		1	2		8	
そ の 他	2		2	1	6	2	5	5	23	
計	6	3	7	11	13	7	10	6	63	

## 12. 出火原因別火災損害状況

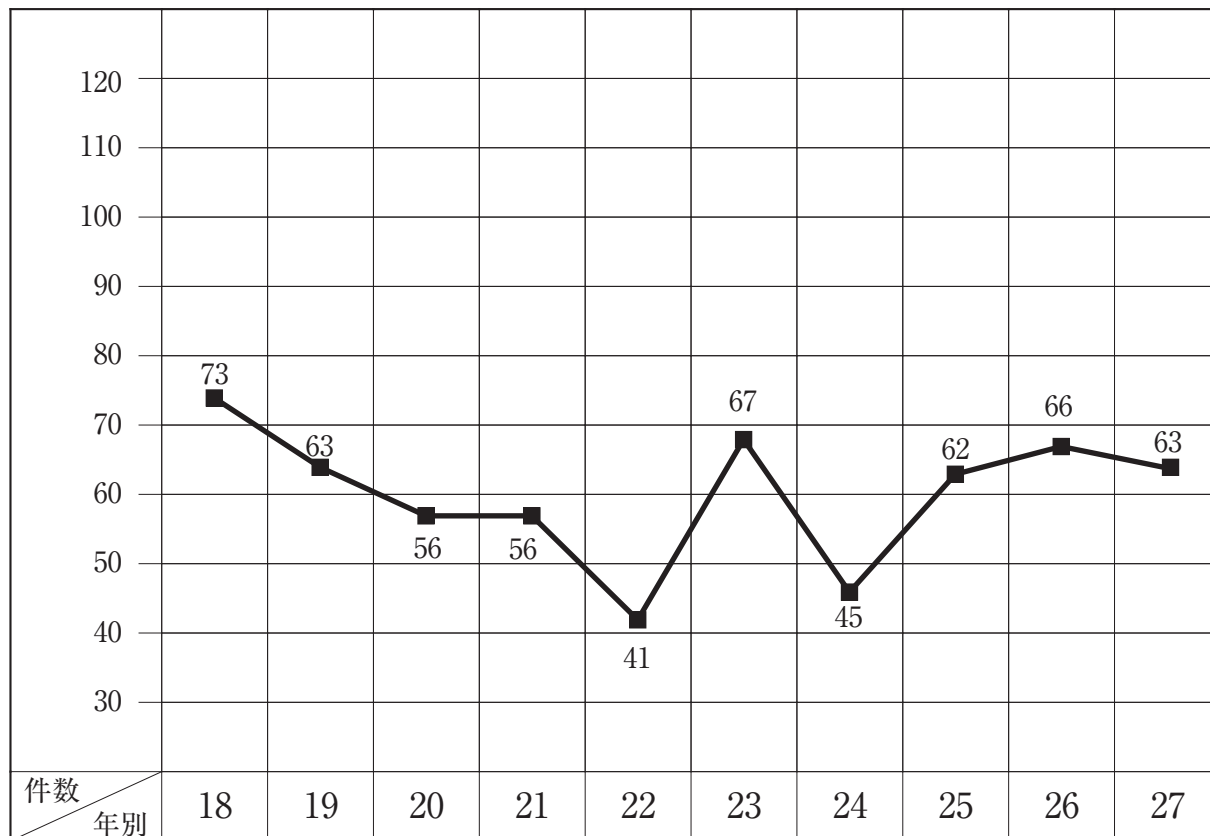
(平成27年中)

区分 出火原因	出火件数	焼 損 面 積		損害額 (千円)
		建物(m <sup>2</sup> )	林野(a)	
たばこ	3	177		9,584
こんろ	3	1		36
かまど				
風呂・かまど	1	25		2,610
マッチ・ライター	2	137		3,536
焼却炉	1	233		4,472
ストーブ	1			2
こたつ				
ボイラー				
煙突煙道				
排気管	4			3,385
電気機器	1			18
電気装置	3			1,001
電灯電話等配線	3	178		2,759
内燃機関				
配線器具	1			2
交通機関内配線				
火遊び	2			2
たき火	6	129	7	2,353
溶接機・切断機				
灯 火				
衝突火花	1			70
取 灰	1	527		3,090
火 入 れ				
放 火	3	24		260
放火疑い	9			236
炉				
その他	8	340		11,773
不明・調査中	10	276		5,333
合 計	63	2,047	7	50,522





14. 過去10年間の火災件数の推移（平成18年～平成27年）





## 6. 救 急 ・ 救 助







## 1. 救急概要

平成 27 年中の救急出場件数は 5,682 件、搬送人員は 5,194 人で前年に比べて出場件数は 104 件の減少、搬送人員は 151 人の減少となりました。

一日の平均出場件数は 15.6 件で住民の約 24 人に 1 人が救急車を利用したことになります。

1. 出場件数		5,682 件
2. 不搬送件数		519 件
3. 搬送人員		5,194 人
4. 一日あたりの平均出場件数		15.6 件
5. 一日あたりの平均搬送人員		14.2 人
6. 出場件数の最も多かった月	1月	539 件
7. 出場件数の最も少なかった月	6月	401 件
8. 出場件数の最も多かった曜日	月曜日	868 件
9. 出場件数の最も少なかった曜日	火曜日	746 件
10. 出場件数の最も多かった時間帯	(10:00~12:00)	751 件
11. 出場件数の最も少なかった時間帯	( 2:00~ 4:00)	186 件
12. 最も出場の多かった事故種別	急病	3,323 件

(平成27. 12. 1現在の人口で算出)

126,952人

## 2. 月別救急出動状況

(平成27年中)

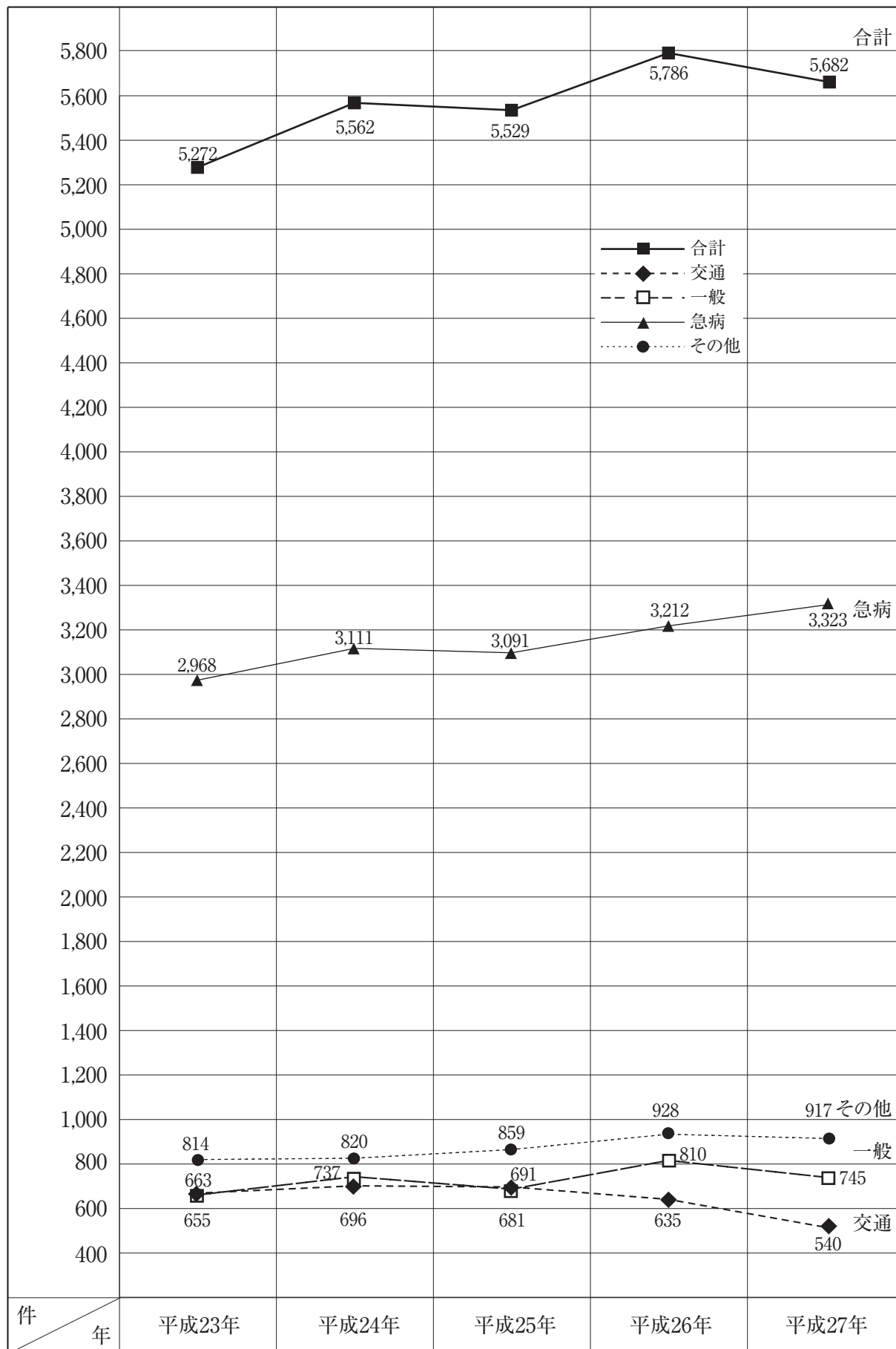
種別 月	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 災	運 動	一 般	加 害	自 損	急 病	そ の 他	計
1月				45	2	4	82	1	4	329	72	539
2月				40	5		62	1	3	298	73	482
3月				39	2	1	71		3	285	61	462
4月				33	10	4	57	1	2	249	69	425
5月	2		2	41	5	2	62	1	2	267	81	465
6月				53	1	4	43	2	5	223	70	401
7月			2	44		3	51	1	3	305	77	486
8月				46	4	5	72		3	312	96	538
9月	1			56	4	4	59	1	8	275	84	492
10月				33	4	6	61	1	4	228	76	413
11月				56	4	7	53		9	267	80	476
12月				54	7	1	72	3	3	285	78	503
計	3		4	540	48	41	745	12	49	3,323	917	5,682

## 3. 過去5年間の救急出動状況 (平成23年～平成27年)

(平成27年中)

種別 年別	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 災	運 動	一 般	加 害	自 損	急 病	そ の 他	計
23	12	2	6	663	29	31	655	21	71	2,968	814	5,272
24	7	4	2	696	39	49	737	23	74	3,111	820	5,562
25	12		4	691	44	62	681	26	59	3,091	859	5,529
26	10		4	635	55	40	810	29	63	3,212	928	5,786
27	3		4	540	48	41	745	12	49	3,323	917	5,682

#### 4. 過去5年間に於ける救急出動比較（平成23年～平成27年）



## 5. 曜日別救急出動状況

(平成27年中)

種別 曜日	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 災	運 動	一 般	加 害	自 損	急 病	そ の 他	計
日				84	6	14	130	2	5	483	75	799
月				75	4	2	135	1	6	487	158	868
火				78	11	2	95	1	9	417	133	746
水	3			78	6	2	98	2	8	449	141	787
木			2	76	8	4	100	2	9	490	142	833
金			1	85	6	4	83		5	489	154	827
土			1	64	7	13	104	4	7	508	114	822
計	3		4	540	48	41	745	12	49	3,323	917	5,682

## 6. 時間別救急出動状況

(平成27年中)

種別 時間	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 災	運 動	一 般	加 害	自 損	急 病	そ の 他	計
0~2				11			33	2	1	182	21	250
2~4				5			16	1	5	155	4	186
4~6				13			16	1		173	11	214
6~8				54			51		1	243	16	365
8~10				73	7	5	90		3	326	123	627
10~12	1		1	65	12	13	87	1	7	373	191	751
12~14	2			47	4	6	90	1	4	338	193	685
14~16				70	11	6	81		4	303	116	591
16~18				69	9	5	95		3	337	110	628
18~20				78	1	1	74		9	341	74	578
20~22			2	34	1	5	59	3	6	304	30	444
22~24			1	21	3		53	3	6	248	28	363
計	3		4	540	48	41	745	12	49	3,323	917	5,682

## 7. 傷病程度別・年齢区分別搬送人員

(平成27年中)

傷病程度別 年齢区分別 種別	合 計	傷病程度別					年齢区分別				
		死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	新生児 生後 28日 以内	乳幼児 満7才 未満	少年満 18才 未満	成人満 65才 未満	老人 満65才 以上
合計	5,194	53	401	2,292	2,448		17	286	220	1,771	2,899
火災	4			1	3				1	2	1
自然災害											
水難	3			1	2			1		2	
交通	487	3	23	104	357			15	66	284	122
労働災害	46		8	21	17					38	8
運動競技	40			10	30				27	13	
一般負傷	680	8	35	275	362		1	56	21	154	448
加害	12			4	8					10	2
自損行為	34	4	7	16	7				1	23	10
急病	2,994	38	178	1,168	1,610		1	165	78	979	1,771
その他	894		150	692	52		16	49	26	266	537

## 8. 管内・管外収容状況

(平成27年中)

市町別 区分	管 内	鹿 児 島 市	始 良 市	都 城 市	垂 水 市	曾 於 市	そ の 他	計
搬送人員	4,441	396	314	20		1	22	5,194
搬送人員の比率 (%)	85.50	7.62	6.05	0.39		0.02	0.42	100.0

## 9. 救急搬送状況（署所別）

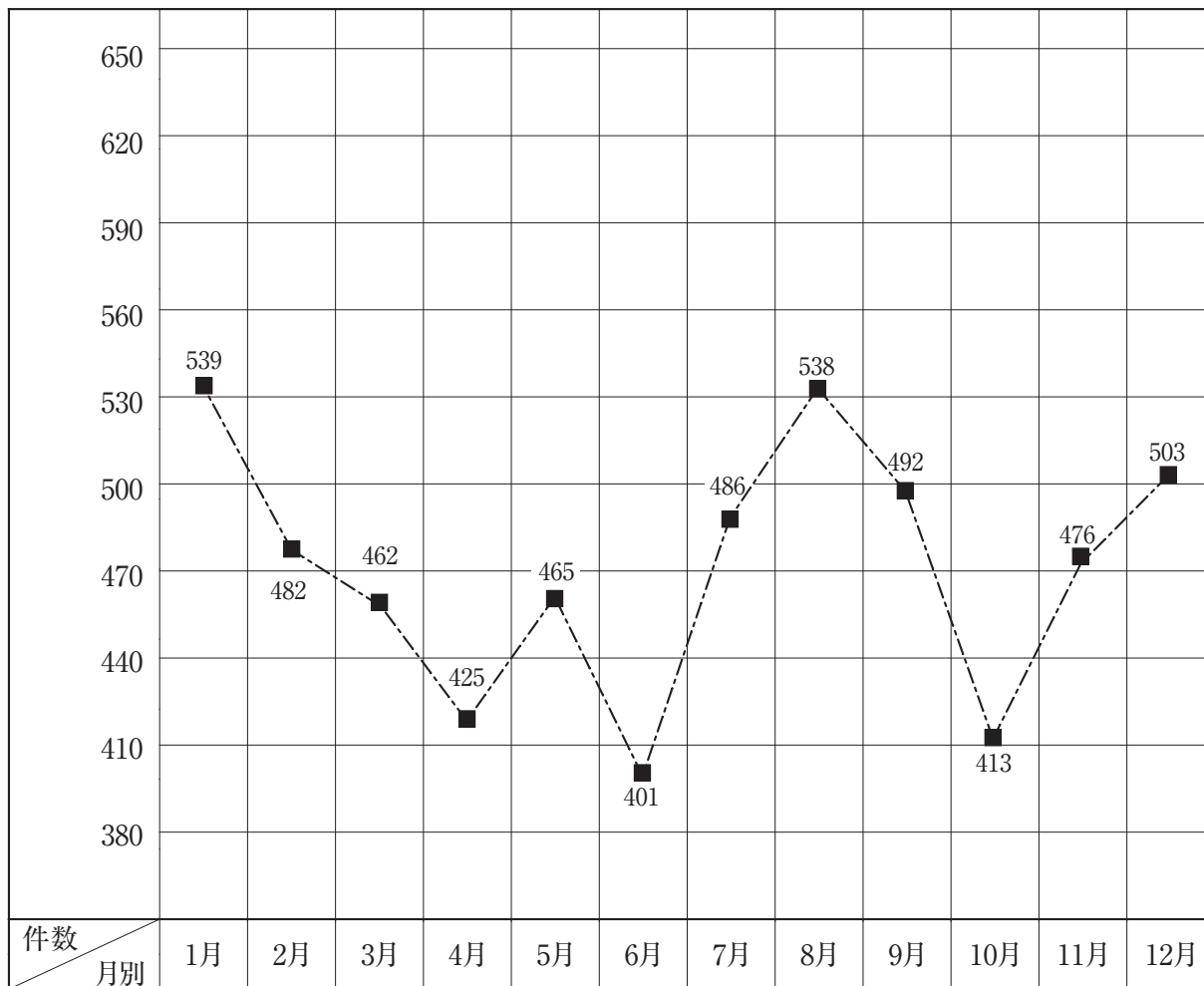
（平成27年中）

区分 署所別		救 急 事 故 種 別												不 搬 送
		合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 災	運 動	一 般	加 害	自 損	急 病	そ の 他	
合 計	出動件数	5,682	3		4	540	48	41	745	12	49	3,323	917	
	搬送人員	5,194	4		3	487	46	40	680	12	34	2,994	894	519
本 部	出動件数	3											3	
	搬送人員													
中 央 署	出動件数	2,969	2		3	292	15	28	359	6	24	1,626	614	
	搬送人員	2,688	2		3	262	15	27	319	7	17	1,441	595	295
隼 人 分 遣 所	出動件数	1,029	1		1	107	8		140	2	8	598	164	
	搬送人員	963	2			93	8		133	1	7	555	164	74
福 山 分 遣 所	出動件数	281				26	5	2	33	1	5	188	21	
	搬送人員	264				27	5	2	33	1	1	174	21	22
溝 辺 分 遣 所	出動件数	403				40	7	3	53		3	251	46	
	搬送人員	368				34	6	3	47		2	231	45	39
北 署	出動件数	364				24	2	2	55	2	1	241	37	
	搬送人員	329				20	2	2	50	2	1	215	37	35
霧 島 分 遣 所	出動件数	323				26	5	4	64	1	4	196	23	
	搬送人員	291				24	4	4	59	1	2	174	23	32
横 川 分 遣 所	出動件数	310				25	6	2	41		4	222	10	
	搬送人員	291				27	6	2	39		4	203	10	22

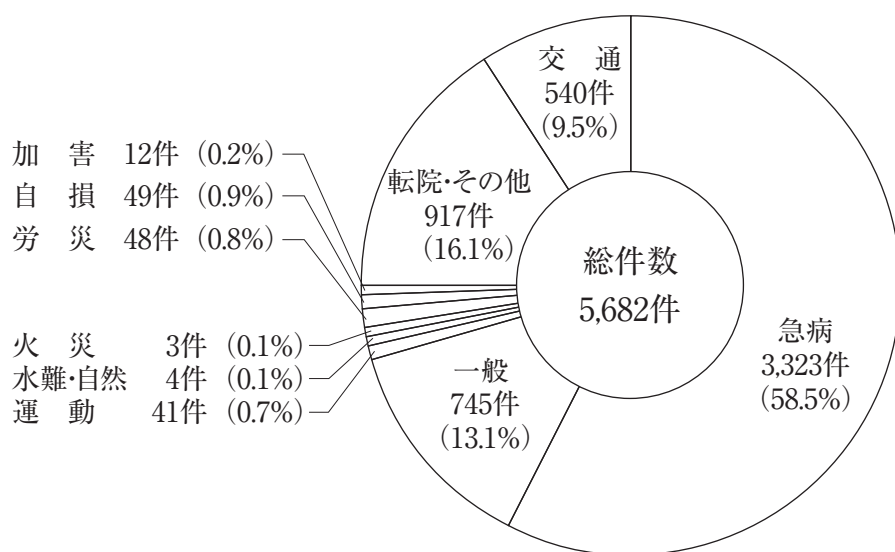


## 10. 月別救急出動比較

(平成27年中)



## 11. 事故種別発生比較 (平成27年中)



## 12. 事故種別救助出動及び活動の状況

(平成27年中)

事故種別		区 分		出動件数	出動人員	活動件数	救助人員
		建 物	以 外				
合 計				56	730	27	30
火 災	建 物						
	建 物 以 外						
交 通 事 故				43	595	19	22
水 難 事 故				3	35	2	2
自 然 災 害							
機 械 に よ る 事 故				3	26	1	1
建 物 等 に よ る 事 故							
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故							
爆 発 事 故							
そ の 他 の 事 故				7	74	5	5

「出動人員」とは、救助活動を行うために出動した全ての人員をいう。

## 13. 事故種別発生場所別救助人員

(平成27年中)

事故種別 発生場所		火 災	交 通 事 故	水 事 難 故	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	計	
		屋 内	住 居									
	その他の屋内											
屋 外	道 高速道路		1								1	
	路 其他の道路		19								19	
	水 面	内 水 面										
		外 水 面			2							2
	山 岳									1	1	
	その他の屋外		2			1				3	6	
地 下												
そ の 他										1	1	
計			22	2		1				5	30	

本表において「火災」とは救助隊および消防隊が出動した火災のうち、消防機関が何らかの救助活動を行った火災をいう。

## 14. 応急手当の普及啓発活動状況

### 1. 月別

(平成27年中)

区分	月												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
応急手当法 受講者数	74	215	148	205	412	1,885	2,704	640	279	538	424	266	7,790
普通救命講習 受講者数 (3時間)	86	97	34	17	70	114	120	95	30	120	44	68	895

### 2. 年別

平成7年～平成27年

区分	年							合計
	平成 7～21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	
応急手当法 受講者数	48,926	6,046	6,817	7,200	7,711	8,852	7,790	93,342
普通救命講習 受講者数 (3時間)	11,134	1,286	965	886	986	865	895	17,017

## 15. 救急活動実績 (救命率)

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
心肺停止傷病者 (人)	126	101	117	110
心拍再開 (人)	17	9	13	12
心拍再開率 (%)	13.5	8.9	11.1	10.9



## 7. 消防団関係





## 1. 消防団現勢

平成28. 3. 31現在

区分 地区別	人 員		機 械						
	定 員	実 員	ポンプ 自動車	小型動力 ポンプ	積 載 車	捜 索 工作車	赤 バ イ	広 報 車	
合 計	1,236	1,179(16)	34	60	57	1	3	1	
団 本 部	方面隊から選出		団長1名(国分から) 副団長2名(国分・隼人から)						
女性消防隊	各方面隊に所属		女性団員で構成し、本部付で活動する。						1
機 能 別	無線通信班	6	無線従事者で組織し、通信手段の不備を解消する。						
	海難捜索班	13	船舶等所有者で組織し、水難事故等に活動する。						
	特別消防班	25	消防知識を有するもので構成し、大災害時の補助を行う。						
計		44							1
国分方面隊	320	309(5)	7	14	14				
隼人方面隊	240	224	10	9	9	1	3		
霧島方面隊	100	94	4	4	4				
牧園方面隊	188	163	5	12	9				
福山方面隊	152	128(11)	2	7	7				
溝辺方面隊	124	117	4	5	5				
横川方面隊	112	100	2	9	9				
計	1,236	1,135(16)	34	60	57	1	3		

※ ( ) 内は女性消防団員数。

※ 機能別消防団員は団本部に所属し、霧島市消防団条例定数内で運用される。

## 2. 消防団員の階級別配置状況

平成28. 3. 31現在

区分 地区別	合計	本 部				方 面 隊						
		計	団 長	副団長	班長 団員	計	方面 隊長	方 面 副隊長	分団長	副分 団長	部長	班長 団員
計	1,179	47	1	2	44	1,132	7	9	36	36	73	971
国 分	309	2	1	1		307	1	2	7	7	20	270
隼 人	224	1		1		223	1	2	6	6	18	190
霧 島	94					94	1	1	4	4	4	80
牧 園	163					163	1	1	6	6	9	140
福 山	128					128	1	1	4	4	9	109
溝 辺	117					117	1	1	4	4	5	102
横 川	100					100	1	1	5	5	8	80
機 能 別	無線	6	6		6							
	海難	13	13		13							
	特消	25	25		25							

### 3. 消防団幹部一覽表

平成28. 3. 31現在

本部	團長	副團長	分團長			
	中村徹男	福永學 有馬政行				
地区別	方面隊長	方面副隊長				
国分	東郷喜八	蔵元時光 濱田康男	第一	池江義秋		
			第二	徳永一文		
			第三	中村親雄		
			第四	道場勝		
			第五	四元哲也		
			第六	有村益男		
			第七	永野明		
隼人	下津曲勝	荒瀬博文 森悟	小野浜	永里秀光		
			富隈	塗園和人		
			中央	海江田俊一		
			日当山第一	古河陽一		
			日当山第二	久木田浩幸		
嘉例川	竹下輝雄					
霧島	川畑繁	大嵩重	霧島	岩崎学		
			田口	小谷幸男		
			中央	中園真一		
牧園	森幸治	迫重博	永水	福元義春		
			牧園	井下信賢		
			高千穂	田中義一		
			中津川	富尾明		
			万膳	亀澤達矢		
三体	福満淳一					
持松	池田弘光					
福山	福森芳美	岡元良治	第一分団	川崎潤		
			第二分団	岡山光一		
			第三分団	川畑則雄		
			第四分団	瀬戸正一		
溝辺	下園一信	今吉光男	中央	松元深		
			竹子	外山忠		
			麓	重森忠		
横川	高橋稔	折田正幹	崎森	植木光明		
			中央第一	本村照三		
			中央第二	竹下和典		
			佐々木	下村久夫		
			安良	原田幸典		
山ヶ野	根占鉄郎					



#### 4. 消防団員の在職年数

平成28. 3. 31現在

地区別	年数 合 計	0年	5年以上	10年以上	15年以上	20年以上	25年以上
		～ 5年未満	～ 10年未満	～ 15年未満	～ 20年未満	～ 25年未満	
計	1,179	250	226	184	154	136	229
本 部	47	38	6				3
国 分	307	60	66	46	40	38	57
隼 人	223	39	30	36	27	26	65
霧 島	94	21	18	6	16	17	16
牧 園	163	23	29	35	17	25	34
福 山	128	19	34	13	22	14	26
溝 辺	117	37	32	22	10	10	6
横 川	100	13	11	26	22	6	22

#### 5. 消防団出動状況

平成28. 3.31現在

方面隊別	合 計		火 災		風 水 害		演習・訓練		特別警戒		遭難・捜索		そ の 他 指導・研修等	
	回	延人員	回	延人員	回	延人員	回	延人員	回	延人員	回	延人員	回	延人員
国分方面隊	53	2,190	6	220	1	1	4	153	2	290	1	3	39	1,523
隼人方面隊	49	1,870	2	56	1	2	4	232	3	226	1	43	38	1,311
霧島方面隊	41	837	4	121			6	232	2	94	1	16	28	374
牧園方面隊	43	1,213	4	73			5	299	2	158			32	683
福山方面隊	35	897	2	4			4	231	2	114			27	548
溝辺方面隊	42	1,030	3	64			5	232	2	113			32	621
横川方面隊	45	1,116	3	146			5	388	2	101	1	21	34	460
団 本 部	39	96	2	3	1	1	5	10	1	3			30	79
女性消防隊	41	300					1	9	2	12			38	279
合 計	388	9,549	26	687	3	4	39	1,786	18	1,111	4	83	298	5,878

#### 6. 消防団員の報酬（年額）

平成28. 3. 31現在

区 分	団 長	副団長	方 面 長	方 面 副隊長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
報 酬 額	185,300	177,300	174,600	128,000	93,000	70,500	64,800	53,800	49,000

## 7. 消防団員の諸手当支給状況

(単位：円) 平成28. 3. 31現在

区分	災害出動手当 (回)	訓 練 等 (回)	会議・研修等 (回)	機 関 員 手 当 (年額)
支 給 額	5,000円	4,000円	4,000円	36,000円

(注) 機関員手当については、各消防団車両の正・副機関員に支給。

## 8. 本部・各方面隊別階級及び整備状況

### (1) 本 部

平成28. 3. 31現在

種別		区分							
		団 長	副団長	方 面 長	方 面 副 長	部 長	班 長	団 員	計
本 部		1	2	(7)	(9)				3 (16)
機 能 別	無線通信班						1	5	6
	海難捜索班							13	13
	特別消防班							25	25
女性消防隊						(1)	(1)	(14)	(16)
計		1	2	(7)	(9)	(1)	1 (1)	43 (14)	47 (32)

( ) 内は各方面隊に属し、本部での活動がある。

### (2) 国分方面隊

平成28. 3. 31現在

分団名		区分						
		方 面 長	副 隊 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	及班 び 団 員 長	計
第 1 分 団				1	1	4	47	53
第 2 分 団		1		1	1	3	39	45
第 3 分 団				1	1	3	33	38
第 4 分 団				1	1	3	38	43
第 5 分 団			1	1	1	2	27	32
第 6 分 団				1	1	3	42	47
第 7 分 団			1	1	1	2	39	44
女性消防隊							5	5
計		1	2	7	7	20	270	307

## (3) 隼人方面隊

平成28. 3. 31現在

区分 分団名	方面隊長	副隊長	分団長	副分団長	部長	及班 び 団員長	計
小野浜分団			1	1	4	25	31
富隈分団		1	1	1	5	48	56
中央分団			1	1	2	24	28
日第1当山分団		1	1	1	2	32	37
日第2当山分団	1		1	1	2	33	38
嘉例川分団			1	1	3	28	33
計	1	2	6	6	18	190	223

## (4) 霧島方面隊

平成28. 3. 31現在

区分 分団名	方面隊長	副隊長	分団長	副分団長	部長	及班 び 団員長	計
霧島分団		1	1	1	1	19	23
田口分団			1	1	1	21	24
中央分団			1	1	1	19	22
永水分団	1		1	1	1	21	25
計	1	1	4	4	4	80	94

## (5) 牧園方面隊

平成28. 3. 31現在

区分 分団名	方面隊長	副隊長	分団長	副分団長	部長	及班 び 団員長	計
牧園分団	1		1	1	2	29	34
高千穂分団			1	1	1	19	22
中津川分団			1	1	3	37	42
万膳分団			1	1	1	17	20
三体分団			1	1	1	17	20
持松分団		1	1	1	1	21	25
計	1	1	6	6	9	140	163

## (6) 福山方面隊

平成28. 3. 31現在

区分 分団名	方面隊長	副隊長	分団長	副分団長	部長	及班 び 団員長	計
第 1 分 団	1		1	1	3	38	44
第 2 分 団		1	1	1	2	22	27
第 3 分 団			1	1	2	19	23
第 4 分 団			1	1	1	20	23
女性消防団					1	10	11
計	1	1	4	4	9	109	128

## (7) 溝辺方面隊

平成28. 3. 31現在

区分 分団名	方面隊長	副隊長	分団長	副分団長	部長	及班 び 団員長	計
中 央 分 団			1	1	2	36	40
竹 子 分 団	1	1	1	1	1	27	32
麓 分 団			1	1	1	24	27
崎 森 分 団			1	1	1	15	18
計	1	1	4	4	5	102	117

## (8) 横川方面隊

平成28. 3. 31現在

区分 分団名	方面隊長	副隊長	分団長	副分団長	部長	及班 び 団員長	計
中央第 1 分団		1	1	1	1	16	20
中央第 2 分団			1	1	2	15	19
佐々木分団			1	1	2	17	21
安良分団	1		1	1	2	19	24
山ヶ野分団			1	1	1	13	16
計	1	1	5	5	8	80	100

## 8. 各外郭団体





## 各 外 郭 団 体

平成28. 3. 31現在

(1) 婦人防火協力会	会 員 数	会 長
国 分	700名	林 麗 子
隼 人	300名	山 住 都 子
福 山	15名	赤 池 京 子
溝 辺	20名	久木迫 良 子
牧 園	94名	湯 前 則 子
霧 島	29名	川 野 幹 子
横 川	31名	村 田 純 子
	計 1,189名	

(2) 少年消防クラブ	クラブ名	クラブ員数	会 長
	上小川少年消防クラブ	20名	山 元 芳 彦
	万膳小	14名	小 野 純 二
	野口子供会	73名	川 東 五 夫
	小畑公民館	10名	蔵 元 圭 子

(3) 幼年消防クラブ	クラブ名	クラブ員数	会 長
	あさひ幼稚園幼年消防クラブ	104名	瀬戸口 悟
	大窪保育園	75名	上 村 由紀子
	高千穂幼稚園	79名	椎 名 寿
	牧園保育園	14名	山之上 明 美
	竹の子幼稚園	177名	園 尾 憲 一
	国分西保育園	100名	矢 野 香 子
	下井保育園	66名	吉 永 裕 子
	東国分保育園	80名	井手元 誠
	敷根保育園	54名	吉 永 裕 子
	重久保育園	40名	新 窪 政 博
	清水保育園	87名	新 窪 政 博
	隼人ひまわりこども園	148名	原 田 謙 二
	宮内幼稚園	104名	石 田 邦 雄
	宮内保育園	79名	石 田 きよみ
	牧ノ原認定こども園	111名	中 村 千代美
	鹿児島第一幼稚園	40名	都 築 美紀枝
	国分幼稚園	284名	川 畑 憲 光

中津川保育園幼年消防クラブ	10名	山之上 明 美
ひかり保育園	185名	川 畑 三 枝
浄光保育園	95名	谷 口 裕 昭
カトレア幼稚園	196名	徳 永 健 司
あおば幼稚園	255名	若 松 忠 洋
高隆寺保育園	20名	加 来 宗 慶
白蓮保育園	7名	加 来 洋 美
横川保育園	41名	岡 元 みち子
国分保育園	108名	川 畑 喜 光
はなぞの保育園	132名	木野田 玲 子
隼人認定こども園	126名	原 村 光 慈
高千穂保育園	43名	徳 永 真由美

(4) 霧島市防災協会

会 長	諏訪園 厚 子		
副会長	清 水 誠		
副会長	安 田 茂		
理 事	福 元 幸 雄	橋 口 伸二郎	藤 崎 剛 斎
	内 村 雅 人	林 哲 朗	石 田 哲 次
	松 山 美 義	上別府 徹	
監 事	増 満 豊 久	鎌 田 安 典	
事業所	277事業所		



対 象 物 数																																									
隼 人							福 山							溝 辺							牧 園							霧 島							横 川						
3	4	5	6	7	8以上	計	3	4	5	6	7	8以上	計	3	4	5	6	7	8以上	計	3	4	5	6	7	8以上	計	3	4	5	6	7	8以上	計	3	4	5	6	7	8以上	計
						1															1																				
1						1															1																				
																					1																				
																					1																				
8	3				3	14			2				2						1	1	8	5	3	2	2	3	23	4				1	1	6							
90	71	6	4		1	172	12						12	8	15	2		1	1	27	10	2	3			15	4				1	5	2	18			20				
9	1	1				11	2	1	2				5							2						2	1					1	1					1			
3						3	4						4														1					1									
16	3	1				20	5						5	4						4	4	1				5	2					2	3					3			
														1	1						2																				
3	1		1			5							2							2																2			2		
							2						2																												
														1							1																				
3	1					4	2						2	4	1	1				6	6					6	1											1			
8	1				2	11	3						3	1	1					2	3				1	4	3											3			
9	1	1	1	1	1	14	1						1	3						3	3					3	1											1			
150	82	9	6	1	7	255	32	3	2				37	25	17	4		1	2	49	38	8	6	2	2	4	60	17					1	2	20	8	18		26		

(溝辺町横川町についてはH17. 11. 7以降)

2. 月別火災発生状況

(平成27年中)

区分 月別	火災件数							焼損棟数				焼損面積			死傷者		り災世帯数			り 災 人 員	損害額 (千円)										
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物床面積 (㎡)	建物表面積 (㎡)	林野 (a)	死者	負傷者	計	全損		半損	小損	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発	
1	5	4	1					8	6		1	1	534	4	3	1		2	2			3	19,400	19,290	70	40					
2	4	1					3	1		1			24					0					476	136					340		
3	7	4	1	1			1	10	5		1	4	493	50	2			3			3	5	4,332	3,502	81	630				119	
4	5	3					2	3		1		2	14	2				2			2	7	309	243						66	
5	3	3						9	3		3	3	261	8	2		3	7	3		4	15	6,140	5,999	141						
6	0							0										0					0								
7	2			2				0										0					328		22	105				201	
8	3	3						3				3	1					2			2	2	59	59							
9	8	2					6	4	3			1	233				1	2	1		1	4	4,927	4,482						445	
10	14	2		3			9	2				2						2			2	10	3,101			2,820				281	
11	5	3		1			1	5	4			1	221	1				3	2		1	3	5,824	5,673	34	13				104	
12	7	4	1	1			1	6	1	2	1	2	192	9				3		1	2	7	5,626	5,239	2					300	85
計	63	29	3	8			23	51	22	4	6	19	1,973	74	7	1	4	26	8	1	17	56	50,522	44,623	350	3,608				1,856	85

13. 過去5年間の地区別火災発生状況（平成23年～平成27年）

区分 年別	地区別	火災件数							焼損棟数				焼損面積			死傷者		罹災世帯数			罹災人員	損害額									
		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ほや	建物床面積(m <sup>2</sup> )	建物表面積(m <sup>2</sup> )	林野(a)	死者	負傷者	計	全損		半損	小損	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
23	計	67	44	5	5			13	65	26	2	18	19	2,323	55	33	3	12	33	9		24	80	116,016	113,351	98	1,799			768	
	国分	29	18	3	1			7	24	5	1	5	13	416	4	33		8	11	1		10	28	25,777	24,981	15	50			731	
	隼人	15	13		1			1	23	12	1	9	1	921	42		1	4	13	6		7	32	64,741	64,714		1			26	
	霧島	4	3					1	6	3		2	1	556					2			2	3	7,478	7,478						
	牧園	5	2	1				2	3	2		1		83	8									545	472	67				6	
	福山	7	3	1	2			1	3	1		1	1	123	1		2		3	1		2	7	8,420	6,652	16	1,747			5	
	溝辺	3	2		1				3	2			1	120					2	1		1	4	1,433	1,432		1				
横川	4	3					1	3	1			2	104					2			2	6	7,622	7,622							
24	計	45	31	3	4			7	54	19	1	15	19	2,740	85	2		7	30	8	2	20	72	479,573	477,121	115	671			423	1,243
	国分	15	11		1			3	13	2		5	6	353	8			4	8	2		6	20	175,064	173,395		325			101	
	隼人	8	5		1			2	14	5		4	5	468	50			1	9	2	1	6	23	17,833	17,823		10				
	霧島	3	1	1	1				1	1				445				1						240		35	205				
	牧園	4	3					1	6	2	1	2	1	263	14				3	1	1	1	4	5,992	5,992						
	福山	3	2	1					6	4			2	637		2		1	2	1		1	6	273,316	273,277	39					
	溝辺	7	5	1	1				9	3		2	4	344	5				5	1		4	14	4,585	4,091	41	131			322	
横川	5	4					1	5	2		2	1	230	8				3	1		2	5	2,543	2,543							
25	計	62	43	6	6			7	78	24	1	24	29	3,160	152	117	2	8	40	14		26	72	229,649	222,390	1,879	2,294			3,086	
	国分	20	14		3			3	28	9	1	8	10	1,779	49		2	5	12	4		8	19	179,634	176,805		568			2,261	
	隼人	12	11		1				19	3		6	10	273	68			2	15	3		12	27	13,012	11,128		1,060			824	
	霧島	2	1					1	1				1	1				1				1	2	15	14					1	
	牧園	7	4	2	1				10	6		4		456	12	92			7	4		3	14	10,467	9,538	263	666				
	福山	5	3	1				1	9	4		4	1	517	19	1		1	2	2		2	2	7,450	7,445	5					
	溝辺	9	8		1				9	2		1	6	135	1				3	1		2	8	4,266	4,266						
横川	7	2	3				2	2			1	1		2	24									14,805	13,194	1,611					
26	計	66	42	7	7			10	69	29	2	10	28	2,549	90	13	6	8	36	15	1	20	68	154,015	151,419	317	1,356			923	
	国分	19	13		1			5	14	1		3	10	137	11		2	3	9	1	1	7	17	6,489	6,438					51	
	隼人	10	8					2	13	3	1	4	5	535	43			1	10	4		6	18	36,723	36,013		554			156	
	霧島	9	6	2	1				12	11			1	517		4	1	2	5	4		1	7	10,579	9,599	234	177			569	
	牧園	7	6					1	10	5		1	4	440	5		1	1	5	3		2	8	26,900	26,893					7	
	福山	6	2	1	2			1	6	1		2	3	99	5	2		1	3	1		2	6	4,251	4,057		194				
	溝辺	10	4	3	2			1	8	4	1		3	544	16	6	2		3	1		2	10	23,347	22,774	3	430			140	
横川	5	3	1	1				6	4			2	277	10	1			1	1			2	45,726	45,645	80	1					
27	計	63	29	3	8			23	51	22	4	6	19	1,973	74	7	1	4	26	8	1	17	56	50,522	44,623	350	3,608			1,856	85
	国分	15	9		1			5	12	5		1	6	436	11			1	7	2		5	16	10,113	9,728					300	85
	隼人	19	5		1			13	8	2		3	3	270	9		1	3	10	4		6	26	11,911	10,900	22	87			902	
	福山	5	4		1				9	4	3	1	1	369	4				2	1	1		3	14,689	13,874		790			25	
	溝辺	9	4	2	1			2	13	6	1	1	5	621	49	2			3			3	5	7,612	5,284	224	2,000			104	
	牧園	5	2	1	1			1	3	1			2	69	1	3			2			2	3	3,441	3,182	70	70			119	
	霧島	3	3						4	3			1	132					1	1			1	427	393	34					
横川	7	2		3			2	2	1			1	76		2			1			1	2	2,329	1,262		661			406		